

節約を目的とする  
團體の成績  
亦不良なり

共同購買  
組合の繁忙

經驗家の  
意見は皆  
悲觀に傾  
けり

建物協會に至りては一として昨年中會員を増加したるものなく、ポブラーの如き少數の地方を除いては一般の傾向は寧ろ減少しつつあり。一建築協會の書記長の談によれば、昨年中戦争終熄後に家屋建築の目的を以て特に預金したるもの皆無にして労働者階級の貯蓄心は十年前に比すれば一般に消磨したるが如く、住宅を所有せむが爲め蓄積せむとする傾向は漸く衰へたり。禁酒建築協會の書記も亦同様の事實を語れり。余の知れる範圍に於て、昨年中特に繁榮なりし節約を目的とする團體は、唯共同購買組合あるのみにして、或る組合の如きは莫大なる取引を爲し、其賣買總額は未曾有の多額に上れるが、斯る繁昌は新會員の激増したるがためにあらずして、舊會員が例年よりも多くの餘裕を有し、又實際に多く購買したるに因るものなり。此の現象は唯消極的の節約と云ひ得るのみにして畢竟消費に過ぎざれば、如何に善意に解せんとするも積極的の節約として賛する能はざる處なり。

國民の節約を考察せむとして、銀行及節約を目的とする團體との成績に失

節約問題  
の要論は  
婦人に  
あり

望せる余は、本問題に就て多年世人を指導して倦まざる經驗家の意見を敲かむとして、昨年中労働者の節約に關し特殊の現象を認めたりや、又平年よりも彼等の貯蓄高の増加したる形迹ありやの質問を發したり。之に對して經驗家の返答は異口同音に、賃銀低き時に節約しつつありし労働者は賃銀昂騰したる今日に於ても節約し、然らざるものは節約せずといふに一致したり。是等の言を綜合するに、從來貯蓄の慣習ありしものを除いては、賃銀の昂騰により収入の増加を來せるも殆んど貯蓄を始めたるものなく、又その額も云ふに足るものなし。古來節約の地と稱せられしシユフィールドに於てすら、多くの浪費行はれたり。

余自身の信ずる所に依れば、本問題の解決は一に婦人の力に俟たざるべからず。若し男子にして節約主義の妻を有せば、妻の節約と共に男子も亦其の収入の多少に拘らず節約するに至るべし。若し一家の主婦にして浪費者ならむか、其の夫も浪費者たらざるを得ず。蓋し家庭に於ては主婦は財囊を握

人口總數  
節約者な  
り

第七章 英國勞働者の浪費

一九四

り家計を司るが故に、男子は妻の助なくして節約するは難事なりと雖、婦人は夫の力を借らずして節約するを得。而も婦人天賦の性質として儉約する傾向を有す。是れ節約問題の解決に對し婦人が鍵鑰たる所以なりとす。戦争前の調査に依れば、英國人口總數の約一割が眞正の意義に於ける儉約者なりしが、今や戦時の好況に際して此率の増加果して如何。悲哉、事實は單に既往儉約せし人の貯蓄高の増加を見るのみにして、節約する人數の増加は之を見るを得ざるなり。勞働者階級に於ける大多數は銀行に貯蓄せるなく、節約を目的とせる團體にも加入せるなく、一枚の株券公債をも購入せず、唯徒に美衣寶玉若くは家財を求めたるに過ぎざりしなり。

世には往々金錢を自己の身邊に藏匿して放つを好まざるものあるが故に、以上の事實のみを以て直ちに勞働者に節約の事實なしと推斷するを得ざるが如しと雖、勞働者一般の風潮より察するに、大多數の勞働者は今日の繁榮期に際して來るべき窮乏の時の準備に具ふるものなきを斷言して謬らざるな

勞働者階級  
の依然然  
たる浪費  
の風潮

生活必要  
費の昂騰  
をも消費  
を増加す

り。彼等は過去に於て贏ち得たる金を徒費したるが如く、恐らく現在に於ても、將來に於ても亦然らむ。彼等は一週二磅を儲け得たる時も、六磅を得る今日も、依然借家料を延滞し、水曜には前週得たる賃銀は殘餘なきに至る。或工場地方に於て最近一日に納稅督促狀八百通を發送せる事實すらあり。如何にして彼等をして節約せしむべきかは議論存すべしと雖、更に一層簡單なる手續により貯蓄し得るに至らば、何等の勸説を要せずして節約するに至るべく、一瓶のウイスキーの代金を以て容易に軍事公債を買ふを得るに至らば喜んで之に投資するに至るべし。

多數の勞働者の思慮なき消費は、必しも浪費のみと認むべからざるものあり。その消費は生活必要費にして、選擇する餘地なきもの多し。身心の健康を維持せむが爲には、戦前より多くの食料費を投ぜざるべからず。戦争は總ての物價を必要以上に昂騰せしめ、國民の膏血を吸らむとせり。而も食料品の價格の騰貴は富める者より貧しき者に苛酷にして、互寒を凌がむが爲めに

斤を以て石炭を購ふ者は噸を以てす者より高價を以てせざるべからず。如何に儉約なる家婦と雖、生活の標準を低下するにあらざれば、戦前より多額の生活費を使用せざるべからず。然るに一般に労働者階級の主婦は生活の標準を低下せざるのみならず、却て最近著しく之を向上せしめたり。營養に充てる主婦子女の顔貌を一瞥すれば、この事實の明白なるを知るを得べし。倫敦州會學校管理者が昨年冬公費にて給養したる兒童の數僅に約一萬三千に過ぎずして、曾ては殆どその八倍に上る兒童を給養したることありしに徴すれば思半ばに過ぐるものあり。此現象を見ると吾人は現代及次代の國民の爲之を慶賀せざるを得ず。是れ現在の國民の營養を増進するは、即ち將來の國民の強健と繁榮の基礎を置くに外ならざればなり。而もこの營養の價にして廉なるを得ば、邦家の慶祥之に過ぎざるべきを、悲哉事實は反對なるを如何せむ。

最近労働者の家庭の食卓は驚くべき變化を受けたり。從來晝食に男子に

は雑詰の牛肉、或は簡單なる晝食、子女にはジャムと麵麩、馬鈴薯、茶等を用ひたる家に於て、今や男子の有無に拘はらず日々、ロース肉、羊肉、又は豚肉を調理し、日曜日には恐らく鶩鳥、鶏等をすら食膳に上さむとし、朝飯に腸詰肉、燻製肉、燻製青魚、間食に鶏卵を用ふ。三食共に菓子あり、特に晚餐には各種の滋味を用ひて食卓を賑はせり。知識的職業に従事する階級に於ては最早購求する能はざる上等の獸肉、鳥肉は、今や労働者に依りて需要せられつゝあり。而して労働者の家婦は不幸にして家計を知らず、調理法に通ぜず、只徒に無用の費を出せり。若し彼等にして主婦としての知識を有さば、現在の約三分の一の費用を以て珍羞佳肴に飽滿するを得む。

労働者階級は單に食物に就て浪費せるのみならず、被服に就ても等しく多額の金を浪費しつゝあり。二年前に襪樓、跣足にて彷徨したる數千の兒童の、今や清潔なる衣服を纏ひ靴を穿つて登校するを見るに至れるは、誠に喜ぶべき事なりとす。若しその服裝が清楚なるに止りて華奢に流れざらむか、一層

喜ぶべかりしも、食物に於けるが如く此の場合に於ても不注意なる消費に依り被服費の大部分は空しく浪費に歸しつゝあり。エヂンバラに於ては賃銀昂騰するや、多くの女工は毛布、臥床用の麻布、下衣の材料を買はむが爲め直ちに貯蓄を始めたり。倫敦、ノッチングハム、リीड、マンチェスター、其の他英國の各地に於て、大多數の婦人少女は臨時収入の生ずると共に毛皮、羽毛及寶玉等の奢侈品を購入するに腐心して何事をも抛てるを見たり。曾ては一着の古外套のみを纏ひたる婦人も、去歳の冬期は十數磅を投じたる毛皮の上衣を着用せるが、恐らく斯る婦人は夏期とならば必ずやレース、チフオンを以て身を飾るに至るべし。又従來頭に小なるシヨールを纏ひたる一般の婦人は、今や羽毛の裝飾帽子を載き、身邊の修飾亦之に應へり。

彼等は自己の身邊を裝飾すると共に其住居をも裝飾しつゝあり。開戦以來蓄音器大に流行し、ピアノも亦稍一般に弄ばれ、テーブル掛、窓掛の需用は増加せり。又彼等は近時多くの家具、特に黃銅製の寢臺の如き美麗なる家具を

住居家財  
に關する  
消費酒精消費  
額の激増

購入したり。之が爲、縱令寶石類を求めざりし者も過分の金錢を消失したり。例年に比し昨年中の國民の酒精消費額が幾何の多額に上りしや未だ詳にするを得ざるも、禁酒運動に全力の傾注せられたるにも拘らず、尙多額の金が酒精飲用の爲消費されたるは疑ふべからず。蓋し昨年の上半期は一昨年の同期に比し、麥酒及酒精の價格の變動なきも尙八百萬磅を超過したり。若し麥酒と酒精とのみを飲用せりとせば、九百萬磅以上の超過となりたるべきを、葡萄酒の消費約百萬磅減少したる結果差引八百萬磅に止りたるなり。一昨年十一月倫敦保税倉庫より八十一萬ガロン(一ガロンは約二升五合)の酒精を在庫したるが、昨年の同月は九十一萬九千ガロンを在庫し、只一箇月間の在庫高を比較するも十萬九千ガロンを増加せり。而して酔狂に因る犯罪は比較的減少せりと云はると雖、昨年中酒精飲用者が増加し現在尙増加しつゝあるは、統計に依らざるも明白なる事實なり。余は最近六箇月英蘭に於て、平年よりも多數の酔狂者を停車場、街路に於てすら目撃したり。

昨年中労働者階級の贏ち得たる臨時所得の大部分は食物、衣服、家具、寶石、飲酒の爲めに雲消霧散したり。而してその或物に費したる額よりも更に多額の金が小遣錢として消費せられたるを知る。性質上、その消費は何等の結果を齎らさずして終れり。

少年職工の如き、思慮足らずして過多なる賃銀を得るの結果、濫費の弊に陥れり。十五歳の少年にしてその必要なる支出以外、一週十志の小遣錢を儲け得る職業に非ざれば従事せざることを揚言して、仕事を謝絶せるが如きものあり。又一少年は充分食物を攝取するにも拘はらず、近時は間食、喫煙の爲め一週十一志を浪費せるあり。小學兒童が通學の途次菓子屋に立寄るが如きは、今や日常事として何人も惟まざるに至れり。此の如き間食、喫煙の爲め浪費さるゝ金額は未だ些々たるものにして、遊山、饗應費、活動寫眞、音樂會、觀劇等の娛樂費、訪問の費用に比較すれば殆ど言ふに足らず。

鑛山地方の小都會に於てすら往々二活動寫眞館、一音樂堂、一劇場あるあり。

而して斯く娛樂場の數多きに拘らず、労働者は一日二回の興行に群集するを常とせり。二年前には夢想だにせざりし喫茶會は隨所労働者の家庭に開かれ、客を接待し、己れも亦他の家庭に招かる。斯る喫茶會に於ては屢、菓子、の代りにウイスキーを用ふ。又労働者の家族は距離の遠近を問はず友人親戚を訪問し、然らざる時は附近都會の店舗を素見し、その道すがら旅館、料理店に入するを例とす。之が爲その家庭は顧みられず、兒童は家に孤獨に放置せられたる儘にして、全く監督者なく惡戲、間食に荒み、學校退後は娛樂を求めて街上に徘徊しつゝあり。労働に従事する者が出遊し得るは日曜日、或は半休暇日なるも、連日の労働に疲勞し果て殆ど出て、遊ぶものなし。由是觀之、凡ゆる交通機關を利用し家を外にして遊に耽る者は、盡く戰爭前には靜に家庭にありて兒童を養育したる家婦にして、今や男子は戰爭又は労働の爲めに外に在りて容易に歸宅する能はず、家婦は其の身の自由になりしこと、及收入の増加せしことを悟り、此の自由と金錢とを濫用して快樂を縱にするに至りた

戦後歸來  
すべきは  
苦窮乏を  
悟らざる

るものなり。  
然れども又一面彼等の心理を洞察すれば同情すべき點なきに非ず。彼等は多年陋巷に埋れて慘憺たる生活を送れり。戦前は僅か三片の仕事を得むが爲め焦慮せざるを得ざりしが、今や思はざる収入を得て殆ど思慮を失はむとせるなり。彼等は快樂を得むが爲め金錢を費すにあらずして、金錢を散ずること自體に愉悅を感ずるにあらざるやを疑はしむるに至れり。彼等の痴愚は漸く救ふべからざるものたらむとす。背後に逼りつゝある戦前に勝る慘苦の影は彼等の快樂に酔へる心を未だ覺醒するに足らず。労働者は刻下享受しつゝある繁榮の永久に持續すべきを信じて疑はざるものゝ如し。彼等の愚や竟に治すべからざる乎。

戦上の危産  
業上は暫  
く機來を  
りく後を

英國の工業黄金時代は既に二年前に其の終末を告げむとせり。失業労働者の増加、資本家の新事業計畫の躊躇、其の他悲觀すべき幾多の現象を綜合せば、若し今次戦争の勃發なからむか、千九百十四年の冬期には英國に懼るべき

戦後來る  
べき悲觀  
象的の諸現

災厄發生し、今に至つてはその禍害測り知るべからざるものありしならむ。現時の變態的繁榮たる國民の賃銀支拂高の大なる膨脹は、全く戦争に基く結果に外ならず。労働者の大多数が召集せられて戦線に赴くや、國內に残留せる労働者はその欲する有利の條件を以て契約を結ぶを得、又彼等はこの好機を決して逸するとなかりき。然らば彼等は斯る戦時の繁榮は、唯戦争中繼續するに過ぎざるを知らざるの理なし、而も自己に不利なる點は全く看過せり。戦争終らば大多数の兵卒は再び労働生活に歸り、勞力供給の缺乏は終熄すべし。之に因りて賃銀の低落と失業者の多數とを生ずべく、而もこの趨勢は勞力需要の稀少となるや、其の勢を増さざるを得じ。又他方戦争にして終局せば軍需品に對する大なる需要は消滅し、數百の兵器工場は閉鎖せらるゝか、或は他種の工場に改造せらるべし。而かも工場の改造たるや、此に必要な資金は即時に調達し得とするも、改造に時日を要すべく、而も此の資金を得るは容易の業にあらず。蓋し英國は開戦以來資本を以て衣食し、無比の高率の

生活を營みたり。随つて常に増進しつゝありし富は今や直下の勢を以て減少しつゝあり。如何に富める國民と雖、若し日々五百萬磅を不生産的に消費せざるを得ずとせば、雖て窮乏に沈み資本に苦まざるを得ず。資金の點を暫く措くも、工場を改造するや否やは、専らその生産品の需要ありや否やに依りて決せられざるべからず。而も戦後の重税と高利と貨銀の低落とは需要の激少を來すべく、多數の兵器工場の改造は到底行ふを得ざるべし。

時は萬事を常道に復せしむべく、次で貿易も再び進歩すべし。然れども是れ短日月の能くする所に非ず。此の間勞働者は低き賃錢に甘んぜざるべからず、婦人は些少の養老金に衣食せざるべからず、男子に代りし婦人勞働者は兵士の歸郷と共に再び男子と代らざるべからず、彼等今にして悟らずば遂に救ふ能はざるに至らむ。彼等をして總ての事情を諒解せしめ得ば、此の憂ふべき傾向を沮止するは強ち不可能にあらざるべしと雖、彼等に如何にして之を知らしむべきか、是れ頗る困難なる問題たらざるばあらず。

今に於ては戦後  
に於ては戦後  
に於ては戦後  
に於ては戦後  
に於ては戦後

愛國者に  
對するに  
對するに  
對するに  
對するに

國家の目的  
を達成し  
て後、自  
己の生活  
を維持す  
るに當り

彼等の愛國心に訴へむにも悲哉、彼等は曾て愛國心に就て何等教へらるゝ處なかりき。彼等は英國人たるを誇とするも、彼等が國家に義務を負ひ國家を擁護する爲に身命を捧げ資産を抛つが如きは、その爲さざる所なり。況や國家の爲め節約すべきが如きとをや。戦端開かれし後に於ても唯男子に對し、國家の名に於て兵役義務を要求したるのみにして一家の財囊を握る婦人に向ては節儉の希望をだに爲されざりき。

若し開戦當時娛樂物、活動寫眞音樂會、劇場の入場券に重税を賦課せしならば、愛國心を喚起する一助ともなり得たらむ歟。蓋し娛樂に對する課税は、縱令思慮なき者をも、如何に時局が切迫し英國の危機に臨めるかを知らしむを得、此くて彼等の潜める愛國心は、炎々たる光芒を揚げしならむ。若し戦争の爲め賃銀騰貴し、戦時賞與金分配せられたる時、其の臨時收入の十分の一を戦争終了の際元利共に償還せらるべき軍事公債に投じたらむには、一方節約の目的を達し、他方愛國心を發揮し得たりしならむ。若し此の舉にして實行せ

られむか國民の負擔すべき財政上の重荷は一時數百萬磅を輕減するとを得、勞働者は近き將來に於て數百萬磅の富を確保し、戦後窮乏の淵に顛落する者なきに至るべし。而して彼等は其有する金錢並に勞力を以て戦時國家に貢獻し、戦後の饑餓の時代に對する準備成れるを悟るとき、その愉悅の情果して如何なるべき。然れども彼等の多數は異常の繁榮時代にあるを悟らず、況んや戦後窮乏の時代の來るべきを知らず、悲むべき哉。現時と雖恐らく戦時賞與金及臨時賃銀の十分の一を軍事公債に投ずるの時機後れたりと謂ふべからず。況や娛樂物に對する課税は結局免れ難く見ゆるの時に於てをや。

收入の十分の一を以て公債を購へば、不足を補ふべし。

## 第八章 戦時英國に於ける生活状態

(一九一六年二月英國慈善雜誌所載)

### 其一

フレラーズ伯爵夫人述

【摘要】一、本篇及次篇の二論文は千九百十六年一月倫敦デニソン會館に開催せられたる慈善協會冬季會議の席上に於て朗讀せられたるものなり。  
 一、本文は開戦以來英國に於て現はれし各種社會問題中、その重要なものを列擧して之に對する女史の意見を陳べ、故國にある國民の熱誠に戦争を維持後援すべき旨を勸奨せるものなり。  
 一、戦争により各種慈善救濟事業の活動旺盛となりしが、軍人家族救護會の行へる家庭訪問による家庭改善が良好の成績を挙げしはその原因親密

一、社会を救済する事  
 一、個人を救済する事



なる個人關係に據りしにあり。今後、社會救濟運動は個人友誼を基調するの有效なるを覺ゆ。

一、從來と雖、貧民階級に於ける嬰兒死亡率は頗る高きものありしが、戦争による青春男子の死亡と共に此の現象世の視聽を惹くに至り、その原因たる無知と不衛生を芟除するを要すとせらる。新に開設せられたる保護所二百、保護會の保護を受くるもの六萬なり。

一、戦争により激増したる女子労働者の戦後の職業問題は最も悲觀すべき状態にあり。田園に於ける勞働、移民の如き解決の一方法たるべし。今日の戦費は尨大なるものにして租税は只その一部分を支辨するに過ぎず。其他は皆公債によらざるを得ず、之が爲め國民は勤儉力行餘財を節して政府に助力せざるべからず之れ國民としての義務なり。

三、女子労働者  
戦時  
保護所  
二百  
保護會  
の  
保護  
を受  
くる  
もの  
六萬  
なり

開戦以後  
國民の  
共同の  
團結を  
起し  
る

○  
戦争と  
生活  
問題

近時女學校に於て用ひらるゝ簡單なる戦時祈禱書中には、現代を稱して「此の赫々として光榮ある時代」と呼べり。一面に肉體的精神的の苦惱、不具廢疾、荒廢せる家庭、窮りなき悲哀の状態を感得しつゝ、尙且此の言の必ずしも詛言にあらざるを信ず。我等が胸は丹心報國の物語に躍り、血は勇敢不撓の事蹟に湧く。吾人は故國にある婦人及戦に従はざる者の献身的奉公を見るとき「塹壕の同胞」と呼べるゝ人の間の光輝ある共同團結を微かにも想ひ浮べざるを得ず。

然れども戦争は常に吾人の想像と同情とを誘起せしめたるのみならず、實に吾人の日常の生活に幾多の新問題を齎したり。是に對する解決の多くは永久の平和の確立せる後に於て始めて之を見出し得べし。而も聊か茫漠の感を免れざるも、既に解決の曙光を望み得る問題も亦少からず。淺薄なる愛國者は「平常と同じき業務」なる標語を創唱して廣く之を流布せしめ、常に吾人をして今日の新しき形勢に順應せしめざりしのみならず、此の如き形勢の

存在をすら認むるに就て著しき障害を爲したり。戦塵暗き大陸を眼前にして何物か能く平常と同じきを得む。而かも既に不斷の奮闘の十有八箇月を閲せる今日、尙未だ國民は因襲の打破を躊躇し、時代の徴象を識別し得ざる悲むべき状態にあり。

然れども戦争より結果せる大なる利益は、即ち慎重なる考慮を必要とする幾多の社會問題の存在を認むる人士の數の著しく増加せる事是なり。戦時救濟團體の事業は全國を通じ日々數千の男女を以て貧窮なる家庭を訪問して遂行せられつゝあり。是等巡回員の多數は、未だ曾て遭遇せるとなき生活状態を始めて目撃して、今日まで單に荒唐無稽の言とのみ考へ來れる事實と相對し、更に沈思せざるを得ざるに至れり。此の新に喚起せられたる興味は、國民生活に躍如たる生々の氣を興へたり。此處に責任の觀念覺醒し、個人奉公の念必然に發生し來れり。而して又喜んでその職に勤勉忠實ならむとする思想起れり。吾人若し此の熱烈なる犠牲的精神を把握し、之を保持して常

社會問題  
の解決が  
注目を惹  
くに至れ

軍人家族  
救護會

に吾等を圍繞する困難を解決せむが爲に之を利用するにあらずむば、社會の損害は實に測るべからざるものあらむ。今や曾て開かれたるとなかりし門戸は開放せられたり、若し再び閉ざれむか、現代に於ては到底復た開くを得ざらむとす。今茲に一例として社會的團體の一に就て述べむ。海陸軍々人家族救護會に屬する巡回員は、幾千の婦女子、兒童と密接なる接觸を保ち、生活程度の永久なる向上、家庭の改善、各階級間の良好なる理解の増進等の爲めに絶好なる機會を捕ふるを得たり。此の救護會の保護の下にある家族の大多數は戦前の状態よりは勝れたりとは云ひ難かるべきも、比較的良好にして、最近に至り「貧窮」に由來する懊惱の原因その影を潜むるに至り、始めて此處に眞の友愛の情湧起するを得るに至れり。海陸軍恩給令に據り設立せらるべき新團體に屬する特志勞働者の地位は未だ確立せるものなしと雖、常に吾等の念頭より去るべからざる理想の一として、組織の變更により既に存在せる個人的關係の存續を破壊するが如きことなからしむるを要することゝす。由

嬰兒死亡  
防止運動

千九百十  
四年嬰兒  
死亡率

來個人的關係は茫漠として明瞭なるなしと雖、階級的妬心に基く破壊力を抑へ、國民的團結を保護し、之を鞏固ならしむるに力あり。  
新に社會改良に従ふ者に取りて最も心を痛ましむる現象は、恐らく極貧者階級に於ける嬰兒死亡が非常なる高率に上れる事實なるべし。彼等は此の寒心すべき國民的災厄を盡滅せしめむとするの運動に熱心に加入せむとせり。こは何等新しき問題にあらず、唯戰爭の爲に、其の急務を高唱せられたるに外ならず。吾人は日々名譽の戰死者名簿を見ると、青春の生命が徒らに費消せらるゝを悲まざるを得ず。然れども若し恢復すべからざる此の損失を聊かにても償はむと欲せば、吾等は須らく生命を享くるや否や死に入る無名の孩兒の生命の喪失に思を致さざるべからず。千九百十四年に於ては、八十萬の出生兒中、出産前の死亡十萬、滿一歳以下の死亡十萬に上れり。而も昨年度の報告は、是以上の高き死亡率を示すに至らむと豫期せらる。如何なる時と雖、斯の如き統計數を見れば眞に慄然たらざるを得ず。況や國家の精英は

婦人労働  
の激増  
と戦後の  
地位

成熟の域に達するや、剿滅せられつゝある刻下の如き時代に於てをや。  
吾人は從來輕卒にも等閑視せられたる此浪費には到底堪ふるを得ず。現在の生活方法竝に生活の狀態を變化改善して少くとも此の怖るべき死亡率の原因たるもの(無知と不衛生)を芟除すべきは實に焦眉の急務なり。長足の發達を遂げたるものありと雖、嬰兒の幸福増進に關する各般の計畫は尙未だ幼稚なるを免れず。兒童保護會の保護を受くる兒童の數は僅に六萬に過ぎず。本運動の効果を更に大ならしめむが爲には、此の事業の不斷の擴張と發達とに俟たざるべからず。然るに開戦以來新に開設せられたる保護所は僅に二百に過ぎず。斯の如く問題と、其の解決の必要とは、共に世の承認を得つあるは眞に悦ぶべき現象なりと謂はざるべからず。  
戰爭により直接生じたる新なる事情は労働者の群に投ずる婦女子の著しく増加せる事とす。單に本來の婦人労働に於て然るのみならず、戦地に赴ける男子の地位に代り就く者夥しき數に上れり。即ち平和克復の曉には單に

吾人は労働者の過剰問題に苦まざるべからざるのみならず、更に責任あり規律ある生産的事業に幸福と生活の価値とを見出し得たる婦女子の精神的の問題をも解決するを必要とす。軍隊の復員開始せられ、軍需品工場閉鎖せられ、病院は平時の程度に縮小せらるゝに至らば、彼等は果して如何に成行くべき歟。蓋し想像するに難しと謂はざるべからず。假令其最初の生活に歸るを不可能ならずとするも、彼等は再び舊生活に歸るを肯ぜざるべく、特に中流階級の女子の前途に横はる問題の解決は、更に困難なるものゝ如し。畢竟労働者階級の間にも恐らく異常の窮迫あるべしと雖、生活の形式を全然改めざるべからざるの必要に迫らるゝものは實に比較的裕福なる階級なり。多数の人は彼等が戦後永續するを期待し得べき収入に比較して、其の住宅の廣きに過ぐるを感ずべし。大家の大多数及中流の家庭に於ては、必ずや其人員を減少せざるを得ざるべし。而して自ら進んで労働、看護、發動機運轉、カード索引製作等に従事し居たる女子の大部分は、必ず自身の家庭の務に就くに至ら

む。此の如きは或は慶賀すべき現象なりとは云ふべからざるも、尙女子は依然として活潑に至當に職務に従へりと謂ふを得む。而も更に一層収入の乏しき人に在ては、到底前述の如き改革を試むる域にも達し得ざるべく、牛乳配達、郵便集配或は銀行事務員の如き職に従事し來れる年若き婦人の將來は豫想するに困難なる問題なり。彼等の家庭は戦前に比較して決してより以上の注意の拂はるゝを必要とせざるべく、彼等は自覺して又は冥々の裡に紀律ある繁忙なる生活の價値を知り得たるが故に、手を拱いて徒に日を銷さば必ずや心平かなるを得ざるべし。之が解決の方法として移民策は一定の程では之を採るを得べし。然れども改札、書翰區分の如き職業は、殖民地生活を營むには餘りに貧弱なるものなり。之に反して、田園労働者の缺乏は婦女子にとりて農場及庭園の仕事は今日最好の活動舞臺たるのみならず、將來に於ても甚だ有望なるべきを感ぜしむ。然れども此の方面に於ても亦大なる困難なきを得ず。子女に對する適當なる住居の給與は容易ならざる問題

なり。農夫及庭園師は斯の如き革新的方策を見るに猜疑の眼を以てすべく、又程度には多少の相違あれども、概言せば凡ゆる農業に最も緊要なる家畜の管理の如きは男子を以て優れりとせざるべからず。然れども我國は凡べての集約的農業に於ては、他の諸國に後ること遙かに遠く、殊に田園的職業家禽飼養、果樹栽培、果物保存、蜜蜂飼養等に至りては實に劣れり、吾人は漸く僅に此の事實を知るの機運に到れるに過ぎず。而して現に土地に於ける男子の仕事に従事せむとせる女子は、將來は寧ろ是等忽諸に附せられたる副業の道を辿りて、有益にして興味深き田園生活に進むを可とすべきにあらずや。

簡單なる本論文に於ては將に發生せむとする新しき形勢に就ては單に一瞥を爲すに止めむとす。

戦争終結の日に於て、必ずや來らざるべからざる社會一般の混亂及秩序紛糾に其の勢を加へしめむとする此の女子職業問題は、余を以てすれば尙有望なりと云はざるべからず。困難は如何なるものありとするも、責任ある職業

重要問題の一瞥

女子労働問題は好望なり

の陶冶により、即ち假令一時なりしと雖も、組織整然たる、紀律嚴肅なる、克己、忍耐を要する鍛錬によりて寄與せられたる女子の人格の力を、地方は或程度まで利用し得るものたらしめざるべからず。

今日疑もなく最も重大にして緊急なる問題は「國家は如何にして戦争の代價を支拂ふべきか」にあり。戦費は日を逐ふて増加し、今日に於ては一日に五百萬磅、概言せば一秒時に五十七磅を消費する現狀にあり。千九百十六年四月に始まる會計年度に於ける歳出額は、實に十八億二千五百萬磅に上れり。然るに租税による歳入額は僅に三億八千七百萬磅にして、不足額十四億三千八百萬磅は何等かの方法に依りて収入の途を發見せざるべからず。外國の信用と、米國に於ける我が證券賣却とに依りて五億は調達し得べく、其の差額即ち九億或は其れ以上の巨額は、一に我が國民自からの貯蓄と節制とより之を得ざるべからず。

國民にして經濟上粉身碎骨の努力を爲すにあらずむば、直接間接を問はず

戦費支辨の問題

如何なる租税も到底此の尨大なる費用を支辨すること能はざるべし。來年六月迄の支出高は最近十年間の國民の貯蓄額以上には及ばざるべしと雖、吾人の食料被服並に軍需品等の需要額の過半以上の供給をなす國に對する支拂をなすが爲には、正貨を準備せざるべからず。而も此の最近十年間の貯蓄は之を緊急の場合に正貨に換へ得べき投資又は銀行預金として蓄積せられたるものにあらず、其の大部分は道路、運河、工場、機械設備の如き、正貨に換ふる能はざる形式の富となれるが故に、即時に銃砲彈丸に變ずるを得ざるなり。

如何に基本たるべき軍需品と雖、代價を支拂ふの能力なくむば之を得る能はず。従て之に必要な資金を供給するが爲に、國民各個は極度の克己と犠牲とを求めらるゝを覺悟せざるべからず。吾人は國民の前に横はれる事業を表現せむが爲特に自己犠牲の語を用ひむとす。節儉と經濟とは周到なる生活方法、賢明なる經費の支出、浪費の回避、即ち節制、圓滿なる諸徳の謂なり。然れども現在の形勢は、即ち吾人に迫れる必要は此の至當なる中庸に留まる

を許さざるものあり。此の關係より見れば、自己犠牲の語にはバリサイの徒、ベクスニッフの輩の如き偽善の響あるは人の感ずる所なり。即ち節約は社會を益し、之を務むるものは團體的理想の見地に立つて之を爲すものなりと云ふが如し。然しながら通常人にとりて團體的思想が彼等をして節約を努めしむる動機の根本的の要素たりとは如何にするも信じ難き所なり。戦争前には吾人の多くは皆個人的利害の見地より自ら貯金し、又他人にも貯金を勸誘したりき。是れ實に節約に對する共通の根本動機なりと信ず。然れども戦争の目的を完うするが爲必要とする偉大なる努力を致さしむるには是れのみにては未だ不十分なるを感せずむばならず。國家の安寧に貢獻せむが爲には、吾人の生活を粉飾し安樂ならしむる總ての物を斷乎として割愛せざるべからず。費用多き娛樂は之を暫く措き、各個人の生活費は最小限度に縮少するの決心を必要とす。「吾人の買ふべからざるものは何ぞ」とは、常に繰返へさるゝ質問にして「吾人は自己にとりて其效果缺くべからざるものゝ外は、

何物も購ふを許さず」とは常に與へらるべき答なり。石炭を除いては我國は何物も能く自ら供給するを得ず。現在に於ては吾國の輸入は輸出を超過すること實に一日二百萬磅に及び、其の輸入品の多くを占むるものは毛皮、羽毛、絹、縞子、其の他の贅澤品なり。故に是等物品の購買を抑止し輸入額を低減するは國家の財政上の責任を輕減する最も有効なる方策なり。輸入に係る製造品のみならず、英國に於ける製造品と雖、その購入を禁絶するは亦財政上の緊張を弛うする所以なり。熟練なる職工の多數が軍隊に入れるが故に、著しく我が國の生産力は減少せり。若し吾人にして僅に残れる勞力を自己の生活の安慰、悅樂の爲に用ひむか、是れ政府の爲に、或は輸出貿易の爲に用ひ得る勤勞を奪ふに外ならず。或は云はむ、「然らば貧窮なる商人は如何にすべき歟、彼等の苦痛と雖、之を看過すべきにあらず」と。然れども商業は必しも利他主義を基礎とするものにあらず。誰か醫師が不景氣に惱むを見て彼を支へむが爲に自ら病を求め手術を受けむとするものあらむや。今や吾人は己の

自製は戦  
線にある  
軍人を後  
援する所  
以なり

爲に貯蓄するにあらず、戰場に於て國民の爲に死と相面しつゝある勇士を後援せむが爲貯蓄するの義務を有す。蓋し吾等國民は彼等が死を賭して戰場に赴くを敢て沮止せざりしが故なり。國民は戦争を繼續せむが爲には吾人の消費の能力を國家に與へむことを請ふ政府の要求に奮ふて應ぜざるべからず。如何なる犠牲を拂ふも、戦争に勝を得むとする吾人の決心にして牢乎たらば、戦線に於ける同胞をしてその必需品を缺かしめざるが爲めに、故國にある國民が自ら節すべきは、其の任務に外ならず。「個人の節制」は本年の大なる問題たるべきものなり。是れ個人良心の問題にして又個人の義務觀念の問題なり。何人と雖も如何に慎重なる生活を營むも尙到底遺漏なきを得難かるべし。土曜の半日休暇を廢し得べく、些少の注意を拂はゞ自動車の代りに馬車を備ふて事足るべく、馬車を捨て、徒歩するも尙用を辨じ得べし。新聞の夕刊は買はざるも可、古き衣服は繕ふを勸むれば足り、庖厨の浪費は最も意を須ひて避くべく、家計を助けむが爲め心を盡して節約を計るべし。然

らば婢僕も一家の節約は即ち彼等の同胞が奮闘しつゝある戦闘に寄與するものなるを知り、必ずや自ら進んで此の希望に副ふに至らむ。

是を爲さむとするに當り、徒に指導者を求めて踟躕するは全く不合理の如くに思はるゝなり。千九百十四年の秋、英國の青年が其の生命を國家に捧げむことを申出でたるは、決して内閣員或は其の子息が軍隊に入りしに後れしものにあらざりき。而も一年有半を経過したる今日尙吾人戦に與からざる者は相顧みて曰く、『吾等何を爲さば可なるべき歟、吾等何を抛つべき歟、吾等に期待せらるる所は幾何のものなりや』と。此の如きは畢竟意志の缺乏にあらずして想像力の缺乏なり、周密なる思慮の缺乏なり。吾人は總て非常なる困難に遭遇せるものにして、家屋徒に廣くして而も借家料は特に高く契約は締結せられたれば必ず之を履行せざるを得ず、如何なる法則も如何ともするを得ず。是れ唯個人の良心に訴ふべき問題なり。吾人は何事を爲すにも唯漫然租税にのみ依頼し來れり。クリミア戦争の時は租税により戦費の二分

更に一層  
の奮闘を  
必要とす

の一を供給するを得たるも、今日租税により支辨し得る戦費は僅に其の百分の八に過ぎざるなり。又今日の公債募集の方法は極めて不經濟にして、先づ利息を支拂ふべき財源を發見して而して後避け能はざりし其の重き負擔は國民の刻苦努力によりて僅に荷ひ得るなり。然りとせば此の焦眉の急に迫れる國家問題の解決に國民は手を假さざるべからざる一の具體的の事業此處に存す。吾人は先づ自ら過剰の費用を節するが爲に爲し得べき程度を知り、次で貯蓄と政府に援助するの必要を國民に勸奨すべし。是れ戦に與らざる者に對する強制と自發的奉公との差異に外ならず。吾人は今や正に努力を爲すべき機會に際會せり。若し此の機會を捉へずば『驅り出さるゝまで』晏然として徒坐すべけむのみ。

是に由て之を觀れば、節約は本年に於ける最も緊急なる實際問題なりと云はざるべからず。



其二

【摘要】一、本篇は前篇と同じく慈善協會冬季會議の席上に於て朗讀せられた

るものにして、戦争によりて直接間接に生じたる諸現象を専ら經濟的見地に立つて考察せむとせるものなり。

一、英國に於て戦争によりて影響せられたる最も顯著なる現象は貧民階級の繁榮なりとす。是れ貧民、失業者、公費校食給與數の減少に徴して之を知るべく、勞働賃金の昂騰、婦女、少年者の勞働従事による家庭收入の如き其の原因舉げて數ふべからず。

一、此半面に於て生活費の奔騰は驚くべきものあり。之が爲依然たる收入に甘ぜざるべからざる中流階級は困窮の極に陥れり。而も此等情勢の變化を豫想し得ざる今日、中流階級の救濟は戦時戦後に互つての重要な

る社會問題ならずむばあらず。之が對策としては先づ生活を簡易ならしめざるべからず。住居の縮少、衣食の單簡、教育費の減少等は考慮せざるを得ざる問題なりとす。

一、戦時に至り特に注意を喚起せるを貯蓄の問題とす。貯蓄は個人節約の問題に止らず、亦戦争の遂行に關聯す。而も英吉利人の性質、其の他の事情は貯蓄の勸奨をして困難ならしめたり。此等の困難を排除せむが爲に種々の施設計畫せられたり。即ち食料品節約、集金銀行の増設、公債等の投資、巡廻勸誘等是なり。現戦争に於て特異なる現象は此等後方の事情、特に經濟事情が戦争遂行の重要な要素となれることとす。

一、其の他は同會議の席上に於て本問題に關して討議せられたる議論斷片の二三を収録せるものなり。

\*

\*

\*

戦争が生活に及ぼす  
経済的變化を  
観察せしむる  
に就て

ブライスの演説に  
關する一節

本論文の説く處廣汎に互りその範圍漠然たる處あるが故に、豫め之に就て吾人一個の見解を加へむとす。即ち今次の戦亂勃發せし以來、既に十有七箇月を閱みしたる今日、戦争の爲に國民の各階級を通じて其の生活の上に及ぼせる變化及此の變化より生ずる特種の要求に就き經濟的方面より單簡に觀察するの甚だ有益なるべきは吾人の夙に感ぜし處なり、吾人亦問題を是に限定せむとす。

戦後に於て簇起せむとする傾向ある問題に就て吾人は昨年六月三十日ブライス卿が爲せる演説の一部を此處に引用せむと欲するものなり。曰く、「吾人は戦後には必ず戦前とは異なる別種の世界を見るに至るべきとを信ず。然りと雖其の世界の如何なるものなりや何人も豫言し得る者なし。唯總ての可能性を商量して各人各種の想像をたつるを得べきのみ」と。卿は更に進んで今次の戦争により蒙れる經濟的損失を償ふには、果して幾何の歲月を要するやを自問し、合衆國南部諸州が千八百六十年の状態を回復する爲には四

同演説に  
於ける疑  
問の提起

十年を要したる事實を指摘し、「現代に於ては其の恢復の度は更に一層迅速なるものあるを期待するを得べし。然れども頭腦於て手腕に於て最も生産的能力を有する數百萬人の死滅せる事實は必ずや此恢復の進行を遅緩ならしむると明なり。而して一國の衰頹は延いて其貿易交通する諸國に損害を及ぼすべし」と。更に戦争が質と量との兩方面に於て人類に及ぼすべき悪影響に關して論ずるに當り、卿は戦争が人心に與ふる刺戟より生ずる良好なる道徳的效果に言及して曰く、「人類は其の肉體に於て失へる所を、其の精神に於て賠償すべきことを信ずるものあり。然れども此の如きは歴史も未だ何等の確なる證明を與へざる、極めて投機的の豫想に過ぎず。戦の原因が正義にあることを信じて、感激に充ちたる崇高なる動機により起ちたる人士にとりて、戦時勤務はその精神を益々感奮せしむるの事實に就ては、何等の疑を挾むの餘地なし。然れども此の事實が國民の戦争に與らざるものに對して如何なる程度まで其の感化を及ぼし得べきか。又此の精神の感奮は何時まで

持續すべきか」と。

是れ六箇月以前ブライス卿が提出せる最も時事に割切なる問題にして、而かも卿は之に何等の解答を與ふる事なくして止みたるものなり。余が此の疑問の解決に手を染めむとする所以のものは、此の問題に關して輿論の喚起せられむ事を冀ふを以てなり。

一 戦争の經濟的影響

社會問題に多大の興味を有する吾人に取りて、戦争の招致せる變化の中最も顯著なりと思考せらるゝは、失業者問題の全く終熄せると、其の結果、産業社會に貧窮者の跡を絶ちたることはなり。多年政治家、慈善家をして快惱苦心せしめし問題を悲惨なる戦争が、忽然一朝にして或程度の解決を爲したるを見れば、眞に非常なる皮肉を感ぜずむばあらず。

地方政務院の救貧報告に關する

戦争は失業者問題の解決を認めざるも、而かも官廳の發表せる統計を見る亦興味なき業にはあらざる

貧民數の激減

べし。

(一) 地方政務院の報告の示す處に依れば、千九百十五年十月末に於て、英蘭及威爾斯の貧民の數は五十六萬二千四百九十四にして、之を千九百十三年の六十一萬六千五百二十八人に比すれば約五萬五千の減少なり。而して貧民の割合は、住民千人に對して十五人二分なり。斯の如きは千八百七十五年報告が發表せられたる以來初めての最小數にして、又最低の割合なりとす。今日は身體に異状なくして貧窮に苦む者全然無きに至れり。

失業者救濟數

(二) 千九百十五年十一月に登記を開始したる救貧委員會失業勞働者條令の數は、前年の八十二に對して十七に過ぎず。十一月中に失業救濟を受けたる者の數は、前年同期の八千人に對して僅々八十一人に過ぎざる状態なり。

公費校食給與數

(三) 千九百十五年十一月の最後の一週間に、倫敦にて公費校食を支給せる

労働賃銀  
の激増

學童數は、兒童總數約七十萬中、一萬四千三百七十一人にして、平時に於ては四萬を越ゆるを常とせり。

(四) 倫敦商業新報局(千九百十五年十一月報告)は技術の熟練、不熟練を問はず、労働者の不足缺乏は十一月に至りて愈著しきを加へたることを報ぜり。

重要なる工業の賃銀に就て見るに、千九百十五年十一月三十日を以て終る十一箇月間に於て賃銀率の増加したる労働者の全數は二百九十三萬を越え、其の増加額は一週に付五十六萬四千磅以上に上れり。茲に注意すべきは、此の増加額は、時間外の労働に對する割増金と農業労働者、海員、鐵道従業者、警察官、其他官吏に及ぼせる變化等は全然之を除外せる計數なる事是なり。然れども上述の諸職業に従事せる労働者も、大半は増給又は戰時割増金を受けたり。

婦人並に幼年労働者に對する非常なる需要は、獨身の労働者に比して其の

生活費の  
昂騰食料  
品騰貴率  
四割四分

家庭の所得を著しく増加せることも亦記憶せざるべからず。

然るに他方に於ては物價の騰貴は著しく生活費を上昇せしめたり。唯茲には食料品の騰貴に就てのみ述べむとす。千九百十五年十一月商務院の爲せる調査に依れば、戰爭開始以來食料品小賣の騰貴は平均四割四分に上れりと云ふ。

吾人は到る處個々の困窮者を見るに苦まず。例へば生活費として五志の恩給金以外何物をも有せざるが如き不幸なる老廢者を見るを得べし。然れども吾人は未だ物價騰貴の爲に、労働者階級に惹起せられたる具體的困窮に就ては、何等の實證を見たることなく、而かも刻下の狀態は労働者の收入の激増は其の生活費の暴騰を償ひて尙餘りあるものあり。

若し吾人が眞の困窮者を見出し得とせば、實に中流並に上流社會に於てならざるべからず。事實に於ても中流(知識的職業に従事する者階級に對する戰時救濟は、あらゆる戰時救濟事業の中、最も必須緊要なるもの、一に屬せり。

中流階級  
の困窮

建築家、俳優、音楽家、美術家の蒙れる打撃は特に激しく、又知識的職業に従事する中流階級の損害は、實に言語に絶するものあり。確定せる少額の収入を以て支持せらるゝ多くの家庭は、租税の増加と物價の騰貴との爲に、其の生活程度を眞の窮乏の極點にまで低下せざるを得ざるに至れり。戦争の爲に収入を削減せられたる所得税負擔者百三十六萬人に對する打撃の程度は、詳細に之を知るの方法なしと雖、必ずやその著しきものあるべきは疑を容れざる所なり。

戦争は實際に於て國民の富の分配を大規模に變更せり。即ち自ら招いて之に入りたる貧窮階級をして、其の貧窮より救ひ出せるに反し、他の階級には非常に重き負擔を課したり。貧窮階級の現今の如き隆昌の到來が全然人爲によるものにあらずとせば、再び來らむとする舊時の如き状態は必ずしも同情を値するものにあらず。此の繁榮は確に「唯現戦争の繼續中のみ」に過ぎざる新現象の一に過ぎざるなり。

生活方法を簡易にする必要とす

之に反して、中流階級に於ける此の重き負擔こそ實に動かすべからざるものなり。之れ戦争の繼續中次第に其の重きを加ふるのみならず、平和克復後は至りても長く繼續すべし。單に物質的見地より觀察するも、所得税負擔者の大半の爲には、其の前途甚だ悲しむべきものあり。彼等の多くは既に遠き以前より辛苦多き節儉の道程に上れるも、未だ其目的に到達せるもの誠に寥寥たり。文明の進歩と共に其の必要を感ずるに至りし物品の名目を調査し、是等の内如何に多くのものが之を缺くとも尙用を辨じ得るかを知るは、極めて興味あり且必要な事項なり。商品目錄千三百頁に亘つて簡単に調査するも、尙何等の必要もなく又美しくもあらざる物の爲に如何に巨額の金錢を年々浪費し來れるかを知るとき、吾人は阿然たらざるを得ず。此の事實は吾人の多くにとりて單に奢侈品排除の問題に止まらずして、嚴格なる「簡易生活」を營まざるべからざるを教ふるものなり。就中住宅の縮小、衣食の節約、使用人の減少、兒童教育費の低減等は、其の主なるものなり。

是等の内、居住家屋の縮小は、借地期限ありて而かも轉貸するを得ざる者の爲には、最も困難なる問題なり。然れども、若し事情にして更に一層逼迫するに至らば、必ずや頼り來るべき下宿人あるべく、又數家族同居して其の費用を分擔せむことを欲するに至らむ。

奴婢に就ても、吾人は奴婢を使用せずして足る生活方法を見出さざるべからず。而して其一部分の解決は勞力經濟の鹽梅に依りて之を實現し得べきは疑を容れざる所なり。保母は家庭に必要なるべしと雖、其他の奴婢は屋内生活に就てのみ云はゞ、其の解雇は被傭人の方面より見るも、主婦の方面より見るも、特に遺憾となすべき點毫も之れなきが如し。

兒童の扶養と教育とは恐らく吾人の眼前に横はる最も困難なる問題なり。其の解決方法を教示せらるゝを得ば、余一個より云ふも、衷心より深厚の感謝を捧ぐるに吝ならざるもの也。所得税は個人に課せずして、家庭全體に之を課すべしとの提議は、吾人之に賛成す。此の原則は其の所得五百鎊を超過せ

ざる者に對し適用せられたりしが、之が範圍は擴張せらるべきを至當とす。而して又安價にして而かも其の効果を減ぜざる寄宿學校の發達せむことは、希望に堪へざる所なり。

## 二 國民貯金の必要

特に或階級に對して節儉の必要なるの事實は、戰爭の目的を貫徹せむが爲に全國民が貯蓄するを必要とするの事實と、最も密接なる關係を有す。

貯蓄問題は近時漸く國民の注意を惹くに至れり。今日吾人の爲さるべからざる責務の何なるかは、銀行家の十二月二十八日に發表せる散文に於て之を正確に知ることを得べし。曰く、「國民の精力は、焦眉の急に迫れる事物を生産せむが爲に、總て之を集中せざるべからず。緊急を要せざる事物の生産は擧げて之を中止し、必需品の消費も亦嚴密に效果多きものゝ爲のみに局限せざるべからず」と。

唯此の趣旨に賛意を表するは極めて容易の業なるべしと雖、之が實行は極

貯蓄の困難なる事  
情なる事  
貯蓄の困難なる事  
に反する情

生活の向上を余り  
しむるから

めて困難なる問題なり。其の理由を列挙すれば凡そ左の如し。

(一) 千九百十五年十一月末に於て、郵便貯金及委託貯金銀行の貯蓄額は二億三千五百萬磅を超過せるは事實なれども、而かも貯蓄が我が國民性の一なりと稱するを得ず。概觀すれば英吉利人は寧ろ奮闘を好愛するものなり。英人をして國民として成功せしめたる要素は、周密なる物資の節約にあらずして、寧ろ平和の時に於ては企業及冒險的氣象となりて現れたる奮闘的本能に基くものなり。貯蓄の如きは決して英人の屑しとする所にあらず。故に自から進んで貯蓄し又他人に之を勧誘するは愛國者たるの義務なる事を告ぐるは、其の最も好まざる所を強ふるに外ならず。

(二) 富の非常なる増加と其の公平なる分配とは、當然の結果として、凡べての階級を通じて其の生活の標準を高め随つて貯金を愈々困難ならしめたり。

此の問題は階級的僻見と因襲との爲に一層紛糾するに至れり。多くの中流家庭に於ては、過去數箇月は牛酪の代りに人工乳酪のみを用ふるに反し、労働者階級は、斯る下等の食料品を攝取するを以て、一種の恥辱として之を用ふるを欲せざるが如き、又窮民が高價にして且つ窮窶なるシルクハット、ホワイトシャツの如きを常用するを矛盾と感ずるは、何等價值なき因襲に拘泥する感情にすぎず。

(三) 今や昔日の収入の二倍三倍を所得する人にとりては、其の多年慾求し居たる物に、即ち妻の爲の裘衣、蓄音器、自動車の如きに、収入の剩餘を費さむとする大なる欲望を抑ふるは至難の業なるべし。吾人は之に對して必ずしも同情の念を惜むものにあらずと雖、而かも貯蓄する餘裕ある人が其の消費を増大して惡例を開くは眞に痛嘆に堪へざる處なり。

(四) 節儉の勸説は之を行はむに固より節儉自體が人の注目を惹くに足るの特性を具へざるが故に、其の効果は著しく減殺せられざるを得ず。例

節儉の勸説は之を行はむに固より節儉自體が人の注目を惹くに足るの特性を具へざるが故に、其の効果は著しく減殺せられざるを得ず。例

所得の増加は慾望の増大を招き

ば軍隊徵募の運動の效果は眞に駭目すべきものあり。徵募指揮官の後へに従ふ一隊を見る時、何人か良く應募の心を抑へむとして能ふものぞ。然れども節儉の事たるや、不幸にして目に觸るゝものは、實に奢侈と浪費とに誘ふものゝ他に何ものあることなし。

斯の如き困難あるにも拘らず、又此の困難あるが故に、凡ゆる階級に經濟を實行せしめむとする各種の方策講ぜらるゝに外ならず。國民食料基金其の他の機關設けられて始めて國民は食料の貴重なること、及其の蓄積の必要なことを覺るを得たり。倫敦慈善協會は「如何にせば少額の金錢を以て多量の食物を得べきか」てふ論文を發表したるが、是れ該問題に關する最も優秀なる議論なりと稱せらる。予の經驗に依れば、收入の減少したるが爲に、節約の必要に迫れる家庭或は又熟練なる料理人を使用する家庭に於ては此の運動は非常なる成功を收め得たりと雖、週給を得る労働者にありては幾何の效果もなかりしが如し。労働者は其の妻が料理法に通ずるに至る迄は到底

食事に關する節儉の運動の各種の

貯蓄奨励と獎勵の増加の運動の

オートミール、蠶豆の如きを嗜好せざるべし。倫敦にては婦人労働者に簡易なる料理法の教授を企てたりしが、他の地方に於て此の點に關し、如何なる方法を執りしや知るを得ば極めて興味多き事なるべし。

餘裕の金錢の貯蓄又は投資を奨励する爲にも亦多大の努力傾注せられたるが、倫敦にては多くの會合催され、本慈善協會の地方委員會の中には之に就て積極的手段を講じたるものあり。集金貯蓄銀行の數著しく増加せるは其の結果の一なりとす。通俗に所謂「歩行銀行」は確に労働者階級の貧窮なる者を感化するに最も效果ある手段なるは疑ふべからず。其の集金人と預金者との間に生ずる有利なる關係は、移して之を他の方面に利用するを得べし。此の點に就ても生活程度を向上せしめむとする他の計畫に對すると同じく、個人的方法は最も有效なるものなり。

大會社の中には其の使用人が戦時公債に投資する便宜を計るの設備を設けたるものありたりと雖、小口なる應募は其の統計に於ても亦極めて少額に

労働者に對する貯蓄の奨励方法



して失望せざるを得ざりき。労働者階級が消費組合、労働組合、産業保險會社等の手を経て戦時公債に間接に多大の寄與を爲したるは閑却すべからずと雖、直接の應募額は極めて悲觀すべきものなり。労働者が投資に慣れず、假證券、公債株券等の言語の意義に通曉せざるの事實は、明に其の嬰退主義に陥れる原因の一をなすものなりと雖、彼等は自己の金が安全に貯蓄銀行に保管せられ其の希望に従ひて引出し得るを以て充分満足せるものなり。是が故に彼等の熟知せざる、隨て信用せざる方法を慫慂せむよりは寧ろ從來の方針に依るを賢明なる手段となすが如し。ハロルド・コックス氏は『特別戦争貯金法』の開始を提唱し之によりて効果を擧げむとせり。即ち之に預入せる貯蓄は一箇年間据置き高率の利息を附す。一箇年未滿にても預金者は二週間以上の豫告期間を置いて引出すことを得。唯此の場合には二歩五厘の利を附す。此の計畫は恐く良好の結果を收め得べし。

労働者階級の繁榮と節儉の必要に關する社會の公認とは、慈善協會の活動

慈善協會  
の家庭巡  
回員の任  
務

戦争に與  
らざる者  
の戦國  
に對する  
意

に絶好の機會を與へたり。吾人は自利主義に根據を置きて説きしが如く、今や愛國心の基礎の上に立ちて國民に訴ふることを得べく、又集金貯蓄銀行の普及及其他の實行手段に依り、特に各個人の模範的實例に依りて、節約の勸奨を最も必要とする家庭に説く爲に、充分の努力を傾注せざるべからず。節儉の精神を普及して極めて普遍的のものたらしむるは或は不可能なるべしと雖、多くの家庭を蠶毒する浪費と無知とを矯正するは可能事たらしめざるべからず。是等の目的を達するは多くの家庭巡回員の任務なり。是等の家庭をして家内經濟上の訓練を受くるを奨励すべく、而かも此の訪問に際しては特に注意して『節儉』なる言辭を用ひざるを要す。戦争終熄して再び就職難襲はむとき、貧窮者が自己の上に落ち來るべき悲惨に應ずるの充分の用意と覺悟とを有せしめむことを望むや切なり。

本論の中にて最も重要なるは、戦争が戦争に與らざる者に及ぼせる道義的效果の性質及範圍如何の問題なりとす。我國に於ては他の諸國に見るが如

く、其の影響著しきものゝなきは疑を容るゝ餘地なしと雖、佛國に滞留せし人は、佛國民を通じて滂薄として眞の結合を生みたる愛國心と自己犠牲の精神とを異口同音に説けり。我國は未だ此の點に到達せず。然れども國民は近時我國が如何に危機に瀕せるか、如何に國民の責任の重大なるかを漸く自覺するに至れるの徴なきにあらざる也。今回の大戦亂は從來我が國が従事せし戦争に比較すれば全然異なる點二あり。第一は三百萬乃至四百萬の義勇兵より成れる國民軍を編成したることにして、第二は其の影響の及ぶ範圍軍事上の事項に止まらずして、實に經濟的事項にまで及びしこと是なり。故に故國に於て或る必要なる職務に精勵する者は、實際に干戈を執れる闘士と同じく本戦争に於ける重要な職分を盡すものと云ふべく、戦争が永續せば益々此の事實は明瞭となるに至るべし。此の如く戦線に立つ人と故國に残留せる人との間の二重協同は、各階級間に新しき同情と理解とを誘起するに多大の寄與を爲し、又予の前に述べたる經濟的影響も亦同様の効果を收めたり。

現戦争の  
特徴と故  
國の協力  
士の残留

此の感情は更に益々熾烈となるべく、又之が爲に今後吾人が再び以前の社會問題に逢著するに當り、その解決に大に有利ならむことを期待するの相當の根據あるものなり。

\*

\*

\*

### 會議議論斷片

マーチンデール嬢所論

戦亂勃發の當初にありては節約に關して家庭を強ふるは比較的容易なりしが、好景氣の十八箇月を経たる今日に於ては、受くる者此の戒告の煩累に堪へざるの傾向を生じたり。而かも將來に於ける困難は彼等の前途に存せり。吾人は果して如何なる策を以て之に對するを最善となすべきか。徒に杞憂するを得ず、須らく活眼を開いて對策を講ずべし。實際的なる節約は實に個人の利益の爲に非ずして國家の利益の爲なり。是が爲に拙劣なる節儉

節約勸誘  
の方法

勸誘法を避くべく、未知の教誨師を送らむよりは、既に貧民訪問の任に當り彼等と相識の人をして節約を教へしむるを勝れりとなす。要するに「未知者の叱聲によらず、友人の温言を以て至高の動機に訴へしめ」ざるべからず。

## ラングリー氏(エンフィールド派遣)

氏が郷里は重要な軍器製造地にして土地の人々は毎週四磅乃至九磅を所得せり。此の地にては浪費せらるゝ額も尠からずと雖、彼等の中には大に貯蓄に力め居るものあり。氏が九箇月以前に小仕事を紹介し與へたる或男は其の貯蓄既に四十五磅に達し、其の娘は學校に通學する状態に至れりと云ふ。多くの家庭に於ては、娛樂の標準高められ、且改善せらるゝ所ありたり。

## スペンサー・ヒル氏(エンフィールド派遣)

戦時に設けられし機關の或もの、殊に幼兒の幸福を目的とせるものは、永久に保存せらるべく、又皇太子救済委員會も永續せられむことを希望せり。氏は亦郵便貯金の制限の撤回と養老年金の増加とに對する希望をも附加した

り。

## ヒンクス氏(リセスター派遣)

社會問題中の最も困難なるものは畢竟階級闘争に外ならず。此の階級戦の根本的の鎮壓は果して何人に之を期待すべきか。こは法律に依りて富の分配を平均せむと企てたる政治家にあらず。又養老年金、校食支給、保險法等の如きも眞の解決には何等の効果なきものなり。慈善協會こそ實に之を爲すべき唯一の機關たるべきものなり、協會は更に一層積極ならざるべからず。而して労働者の眞の友として勇敢に奮闘せざるべからず。又嬰兒の死亡率の十中九までは、實に其の務めを懈怠したる両親の罪過なり。

中央取締局  
新編

### 第九章 獨逸兩國に於ける戦時の生活状態

(一九一七年二月アメリカン・レビュー所載)

【摘要】一、本篇は各種の人物の實見談、意見等を綜合して中央同盟國の生活状態を想見せむと試みたるものなり。

一、四面聯合國に封鎖せられたる中央同盟國は、必然總ての物資に付て獨立自給せざるべからざるに至れり。特に國民の生活を支持せむが爲に、其の必需品の供給分配に付ては政府は特殊の政策を施さざるを得ずして、従つて戦時に於ける生活の方法状態は大に其の面目を改めたるものあり。

一、政府は中央取締局を設け、食料品、重要原料品の需要供給に干與し、自身其の配給に任ず。生活必需品たる食料被服は切符に依つて分量、價格等を

一定して配當す。此他の物資は從來の如く自由なり。旅館料理店に於ける食事も著しく制限せられ其の分量減少せり。此處に於てか都市に於ては公衆會食所設けられたるも未だ之を利用する者多からず。然れども此の制度は大に保護發達せしめらるべきものなり。

一、食料品の供給に關しては、悲觀樂觀說交々存して何れに傾聽すべき歟、真相を詳にせざるが故に遽かに斷ずべからざるも、今日まで持續せるの事實は認めざるを得ず。婦人による労働の補充、就中兵役に服せざる男子に對する労働の強制の如き、若し事實實行せられたるものとせば最も注目すべき施設たり。其他社會政策の續行、敵愾心の發揚、舉國戦争の従事等、獨逸の生活状態には研究すべきもの多きが如し。

\* \* \*

#### 一 政府の食料品取締

二、戦時社會政策  
ニ對する研究

千九百十六年の秋獨逸に在りし米人ハーバード・バヤード・スウオプ氏は、其の近著『獨逸帝國の裏面』に於て陳べて曰く、『獨逸に於ける今日の生活は決して愉快なる状態に在りとは謂ふべからず。即ち人民をして壓迫の下に窒息せしむるが如き陰鬱なる絶望的空氣は全國到る處に漲りつゝあり。今や伯林は飛語流言の巷となれり』と。『戦線の背後』及『獨逸の妄想』なる章には、獨逸に於ける生活状態に就て豊富なる記事を掲載せり。

中央取締局(Central state controlled bureaus)は、穀物、牛乳、鶏卵、牛酪、肉類、魚類、其の他の重要食料品並に羊毛、綿、金屬、皮革、石油、其の他の重要原料品の賣買及分配の爲に創立せられたり。

重要原料品を使用する各工場は、凡べて地方取締局に登録し、其の認可を経其の工場が軍隊又は商業上の必要なる生産に従事しつゝあることを證明せられざるべからず。工場は地方當局者に其の認可證を示し、然る後原料品の割當を受く。斯の如くして伯林なる中央取締局は是等の割當額に應じて供

給を爲しつゝあり。

## 二 獨逸は飢饉に迫らず

スウオプの言に依れば獨逸は現在飢饉に苦むものにあらず、又決して將來飢饉に陥るが如きことなし。事實獨逸は英吉利の封鎖を被りし以後、常に脅かされつゝありし危険状態より今日の如く遠ざかりたることなし。其の食料供給には變化なく、而も幾分貯蓄するの餘裕さへ存す。娛樂に對する凡べての事物は到底望むべからざるも、その欠缺は決して生存を危くするものにあらず。

今や獨逸に於ては大規模の組織構成せられ、之に依つて最も公平なる分配を保障する方法に於て物資の供給調節せられつゝあり。又獨逸の科學者は、英國海軍に依り供給を遮断せられたる物品に代はるべき多數の代用物を發明せり。而して戦地に在る兵士及病院に在る患者を除いては、獨逸に於ける凡てのものは、食料品及被服を取締れる切符制度に依りて生活す。今日の獨

○政府の必  
要物資の配  
分制度

逸の食料品配給高は、過去二十年間に於ける最も凶作なりし千九百十五年度の收穫生産に基きて定められたるものなり。

獨逸はヨセフと埃及のファオとの昔譚を再現せるものにして、即ち其の物資を貯藏し、生活に當然必要な數量を分配するものなり。政府に於ては必要上軍隊に對する供給を確實にし、富豪の獨占を許さざらむとせり。此の點に於ては貧富全く同一にして、凡べての人は同一分量を同時に同一の價格を以て配給を受くることを得。此の價格の制度は比較的重要なる物資即ち麵麩、魚類、或種の獸肉及被服類等の如きものに適用せらる。然れども贅澤品に關しては何等の羈束を加へざるが故に、小麥粉の上等品、家禽、豕肉及裝飾衣類等は、金錢を所持する者は自由に之を購求するを得べし。例へば今日に於ても伯林にて絹製靴足袋を望みの價格を以て所要の數量を購入するを得べきも、毛製靴足袋を購ふには警察官の詳細なる訊問を受けたる後、其許可を得ざるべからず。今日まで價格の騰貴著しからざりし安價なる衣類に就て

必要物資の購入に資する切符を

も亦同様なり。

最も缺乏を來せる食料品は牛酪、チーズ、砂糖、コ、ア、チ、コレット、脂肪、豚肉、珈琲、茶、オレンジ、レモン、バナ、及鶏卵等にして、野菜及國內並に南方同盟諸國にて産出する林檎、瓜、梨、葡萄の如き果物は、比較的豊富なるものゝ如し。

### 三 切符制の生活

麵麩、牛酪、肉類、果物、馬鈴薯、脂肪、砂糖、牛乳、クリーム及鶏卵等を購入するには、何人と雖切符を所持せざるべからず。肉類は一週五回購入を許可せらる、牛酪及脂肪は一週二回、鶏卵は一人一週一箇、麵麩、野菜及魚類は毎日購入することを得。

麵麩の切符には戦争麵麩(Kriegsmehl)二十五瓦、凡六分七分の切符を添附し、その小切符一枚は普通麵麩一片、小切符二枚は普通麵麩一本に通用す。肉類の切符は肉類一片半、即ち七十五瓦、凡二十分と引換ふ。火曜及金曜には肉食を禁ぜらる、此の代りに牛酪配給せらる。フライ用の脂肪は月曜及木曜の兩

○ 切符の運

日之が供給を受くるを得。薄くクリームを抄取せる後の牛乳及少量のサッカリンは、クリーム及砂糖の代用品として使用せらる。

各家族は其の家族數の多少に應じて、之に分配せらるべき食物の數量を記載したる切符を受く。此の切符は指定期日内には各所の市場に於て使用することを得。各家族が一週間分の肉類を購入する時日一定せるが故に、肉類販賣店は需要に應じて仕入を爲すとを得べく、不必要に之を蓄積し置くが如き憂なし。而して又肉類販賣所が商品の仕入を爲さむとする際には、顧客の切符を中央供給局に提出するの義務を有す。野鳥及家禽は肉類取締法の制裁を受けず、隨て從來の如く自由に購入することを得るなり。

○ 一人に對する食料の配給

麵麩屋も亦同じく週間に據りて調節する販賣方法を實行せり。消費者一人に付き千九百瓦(凡五百十匁)の麵麩、或は千七百瓦(凡四百二十匁)の生麵麩及二百五十瓦(凡六十五匁)の挽割又は麥粉を得べき權利を有し、又六十瓦(凡十六匁)の牛酪及三十瓦(凡八匁)の牛脂を得るの權利を有す。其の外各人は一週に

○ 食料品の供給に關する政府の干渉

九封度(凡一貫八十匁)の馬鈴薯を受くることを得。而して此の供給品を如何に處分すべきかに就ては、何等の規定を設けず。家族又は個人は一日内に其の切符の全部を使用し盡す事を得べしと雖此の如き場合に於ては自然其の週殘餘の時日は、購入に關し食料取締法の制限を受けざる食料に依つて生活するの已むなきに至るべし。

#### 四 旅館に於ける食事及會食

獨逸に於ける食料品供給は總て事實上政府の監督の下に在り。農夫及家畜飼養者は中央取締局にその全生産物を公定價格を以て讓渡せざるべからず。是等の供給品は貯藏せられて、之を必要とする商舖に更に配給せらるゝなり。政府は常に政府自身の公定價格を以て食料品を徵發するのみならず亦その販賣價格をも公定せり。

○ 旅館料理に於ける食事

大旅館の一なるアドロン・ホテルの如きも食事は約三割の値上げをなし、加ふるに平常供せらるゝ分量よりは遙かに減少せり。而して食卓に献立表は

○ 公衆會食所の創設

備へられざるに至り、客はその欲する物を攝る能はず、旅館が客の爲に供するものを食せざるべからず。普通の飲食店に於ては料金は一般の想像せるよりは意外に廉價なると共に、其の分量も亦至て貧弱なるものなり。多數の都市には公衆會食所設けられ、此の會食所に於ける一食の料金は約十五錢なり。料金表にある主なる食物は、トマト、マカロニ(饅飩)、燕麥、煮生果、之に肉食日には肉類、無肉日には魚類等なりとす。然るに昨年中一般に此の會食所を利用せるもの餘り多數にあらざりき。伯林、コロン、デッセルドルフ、エッセンの如き大都市に於てすら、之を利用する者の數は一週二千人より三千人に過ぎざりき。然れども最近の報道に依れば、公衆會食所は漸次著しく保護せられ、其の設備も大に擴張せらるゝに至らむ。

### 五 獨逸に於ける物資の自給

戦争の結果の大なるもの、一は、獨逸は事實上物資を自給することを得るに至りたることなり。今や獨逸は食料品及原料品の供給に就て全く自國及

○ 獨逸に於ける經濟情勢の好轉

○ 兵役に服せざる男子に對する強制労働

其の同盟國に倚賴し得るの狀態にあり。戦時の食料品の價格の平均騰貴率は約七割に及び、之れ英國、佛國及合衆國に於ける狀態と比較する時は頗る興味あり。獨逸帝國內に於ける失業者の率は今日僅に二・五パーセントにして、千九百十四年七月に於ける率よりも遙かに低きものなり。普魯西、ヘッセン國有鐵道の千九百十六年上半年に於ける貨物賃金の收入を千九百十四年の同期と比較するときは、僅に一二・七パーセントの減少を示せるに過ぎず。千九百十五年十二月以降の貨物賃金の收入は、平時の際よりも却て増加せるを見る。戦時と平時との各六箇月間を比較するときは、運輸税の低減せるにも拘らず、尙約十パーセントの平均増加率を示せり。

### 六 市民に對する新動員令

獨逸の國家主義の最も極端なる一例として、戦線の背後に於ける凡べての健全なる男子に對し、新に定められたる強制労働法を擧ぐべし。兵役年齢に達して武器を取るに耐へざる男子並に兵役年齢を經過せるも六十歳未満の



男子は、總て陸軍省に新設せられたる特別なる一局の支配の下に置かれ、是等の人員は國家の生存に緊要缺くべからざる物資を生産する事業に割當て分屬せしめらる。此に依て多數の壯健なる労働者を抜いて軍務に従事せしむるを得るに至るべし。此の強制労働を婦人にも及ぼさむとするに就ては頗る議論あり。而して此の強制は貴賤貧富を問はず各階級に差別なく適用せらる。此の如きは獨逸には稀に見るの民主的のものなり。普國鐵道行政に就て名聲大に擧れるフォン・グローナー將軍が此の新施設の衝に當れり。グローナー將軍の下に政府の指定せる事業に従事せる人民の給養を處理する一局を置き、從來食料品監督官として知られたるフォン・パトッキーは一般の供給源及貯藏品に専ら意を用ひ、尙氏は兵役又は新労働法に關係なき者、即ち老人、幼者、病患及無職の母親等の如きものに對する供給の分配にも注意することゝなれり。

○ 獨逸國七、婦人労働者の群

産業界に於ける労働者の要求

社會政策的施設の續行

獨逸人の勝利は忍耐力と代

スウアーブ氏の言に據れば、婦人を戰場へといふの詞は今日獨逸の産業界に叫ばるゝ聲にして、婦人も亦快活に此の聲に應じつゝあり。

即ち婦人は馭者、運轉手、土工、郵便集配人、麵麩屋、肉屋、電信技手、耕作者、軍需工、植木屋、電気工、その他凡ゆる種類の職業に従事し居るを見る。實際今日に於ては從來男子の従事せる職業にして婦人の入込まざるものなしといふも、必ずしも誣言にあらずして、是れ亦實に獨逸の大なる誇とする處なり。

更に獨逸は斯かる戦時控惚の際に於ても、尙社會政策的施設たる災害保險、失業及疾病保險等の如き事業を繼續しつゝありて、又此の以外被保險人並に養老年金制に依る者の爲に醫療上の注意を爲し、労働紹介所の連鎖と爲り、之に依つて帝國內兩端の地に在るあるものと雖、日刊印刷物により人と仕事との結合を計りつゝあり。

『七千萬の人は敵と相搏つべく、宛も一體の如く戦に従ひて、一人の背を示す者なく、其の愛國心と、不撓の精神と、勇氣、敵愾心とは今尙開戦當初に於けるが

保守黨の經濟領袖の悲觀を説く

如く彼等の胸中に鬱勃とし、陸離として燃えつゝあり」とは、スウォーゾ氏が獨逸人の氣魄を説けるの言辭なり。而も此の間獨逸精神の組成に隱微なる變化あるを認め居れり。即ち彼等が勝利の確信は、敗跡の不安を交ふるに至り、獨逸人の標語として「勝利は、忍耐と處を代ふるに至れり」。

獨逸の状態に關する最近の言説の一に、保守黨の領袖たるドクトル・フォン・ハイデブラント氏の率直なる告白なりと稱せらるゝものあり。普國議會に於ける演説に言つて曰く、

「我國の經濟状態は喪失及犠牲といふ點に於ては頗る豊富にして……都會に於ける住民は悲むべき状態に苦みつゝあり。例へば婦人が一二箇の馬齡薯を求むるが爲に如何に長時間待たざるを得ざるか、簡單なる必需品を求むる爲に都市民が如何に戰慄すべき高價を出さざるべからざるかを見るるとき、吾人は轉た悲惨の感に堪へざるものあり。而かも此の高價は戦後永く繼續すべし」と。

獨逸國に於ける穀物關物に對する悲觀

### 八 獨逸國の状態は良好ならず

千九百十七年一月瑞典の記者一行が獨逸の食料品取締局長官アドルフ・ファン・バトキに面會したる際の長官の談話の一節に次の言あり。

「匈牙利に於ては、從來食料品缺乏の問題は存せざりしも、獨逸國の穀類の收穫は新收穫を得るまで辛うじて支持するに足るの程度のものなりき。之が爲め獨逸は數十萬噸の穀物を獨逸に讓渡せむことを企畫せり。然れども今や羅馬尼より供給せる獨逸に對する分配額は、獨逸よりの分與を受けずして足るに至れり」

右の言は倫敦モーニング・ポスト紙上に現れたる最近のブダペスト通信に比し、遙に有望に樂觀的なるものなり。其の電文には「中歐同盟諸國に於ける國民の耐久力の限度は既に幾何の餘裕もなし。獨逸國に於ける利用し得べき食料貯藏品は最早六箇月を支ふるに足らず。六月末には一粒の小麥も玉蜀黍も残らざるに至るべく、七、八の兩月は早期の收穫も未だ納め能はずして

経過せざるを得ざるべく、此の時期にこそ印度を除けば世界未曾有の饑饉が現出するに至るべし』とあり。

ウォルフフォン、シールブランドはノースアメリカンレビュー誌一月號に獨逸國に於ける興味ある最近の觀察の結果を發表せり。即ち左の如し。

『一般の産業事情は實に驚くべきほど隆昌なる状態にあり。然れども食料問題は慘憺たるものにして、今や饑餓の迫らむとするの状态は獨逸國の到處に擴りつゝあり。

子が維也納を去りし時には、麵麩屋の店頭には僅かなる割當額、即ち一人一日半封度(凡六十匁)の麵麩を得むとして、其の順番を待てる女子供、老人の群をなしつゝありたり。戦地に在る軍隊は十分なる給養を受け居れりと雖、國內に在る市民は多少の差こそあれ、皆一樣に僅體力を維持するに必要な食料にすら不足して苦みつゝありき』

九 獨逸國の食料は尙缺乏せず

獨逸國の食料品の状態は良好なり

食料物價の一例

フォン・シールブランド氏の目睹せし數次の飢饉暴動には、常に數千の男女關與したり。獨逸國は大體に於て農業國なるが故に、其の食料品の状態は獨逸國に比し遙に良好なり。通常は獨逸國に於ける食料品の三分の一は獨逸國より供給移入せらる。若しも兩國に於ける食料品の供給が双方相均しく分配せらるゝとせば、各人は通常の供給額の約七割を受くるを得べし。然るに獨逸國人は國家聯合の他の一半の國民を救ふが爲に、自からを節約せむとするが如きは其の欲せざる處なり。是れ獨逸國が僅少なる割當に苦みつゝある所以なり。

數箇月前には上等肉の價は一疋(凡二百六十六匁)二十クラウン(凡四圓八十錢)より十七クラウン(凡六圓八十錢)の間を上下せり。ベーコン、ハム、ソーセイジの如きは更に高價にして、實際には如何なる價を出すも之を得るに頗る困難なり。牛酪は一封度一弗乃至一弗二十仙、牛乳は一クオート(凡六合三匁)八仙なれども、是れ又頗る不足なり。チーズは品に依り一封度八十仙乃至一弗

四十仙位なり。然れども麵麩及馬鈴薯は法定最高價格ありて、麵麩は一封度九仙、馬鈴薯は種類に依り一封度五仙乃至十仙なり。

ハブスブルク領に於ける困難を益々深からしめし二原因は、用ひ得べき食料品の公平なる分配を確保するを得ざりし失敗と、富裕なる階級が食料品を蓄藏せること是なり。即ち一方に於て富裕なる者は腐蝕するの虞なき食料品を多量に買入れて之を蓄藏せるに反し、他方に於て貧民は悲惨なる缺乏を訴へつゝあり。獨逸國に於ける多くの食料監督官の任命ありたるも、來るべき冬季に非常なる困難に陥るべきことを、フォン、シールブランド氏は豫言したり。占領せる羅馬尼よりの豊富なる穀物の供給は幾分之を緩和するに足るべし。而かも氏は尙獨逸國は經濟的議論に依つて屈伏すべしとは思考せず。戰場に在る兵士は異なるべきも、一般國民は衷心より戦争に倦み、勝敗の如何に拘らず戦争の終了を見むことを希望しつゝあり。

ハブスブルク領に於ける食料品の分配の失敗

## 第二編 佛獨の農業及財政

### 第一章 戦時に於ける佛國農業狀況

(一九一七年八月十七日ルヴニデ・ドゥ・モント所載)

【摘要】 一、本誌記者ダニエール・ゾラー氏は佛國ノルマンディー地方の農村の實況を視察し、政府の制定したる物價制限策は其の効果尠く、徒に農民を苦しめ、農家の經濟を攪亂するを以て、寧ろ之を廢止するを優れりと爲せり。

一、凡そ物價は自然の需要供給に由て定まるべき者にして、假令法律を以て之を左右せむと欲するも到底不可能なり。且現時の制限策は缺點多く、其弊害亦擧げて數ふべからず。就中農民は一方に賃銀、材料費の騰貴に苦しみ、他方に於て制限法の束縛を受くるを以て、單に農産上弊害を來すのみならず、其不平は他日重大なる社會問題を惹起するに至らむを虞る。

一、佛國政府は食品相場の調節を慮り、千九百十五年十月十六日の法律を以て國民の生活上一日も缺くべからざる小麥粉の相場を制限し、毎キヤンタール三十法(一キヤンタールは我二十六法)を以て徵發する旨を規定し、更に之を燕麥及裸麥に及ぼすこととせり。當時世上の賣買相場は毎キヤンタール三十八法なりしを以て、農民は爲に毎キヤンタール八法の損失を蒙ることとなれり。然れども輸入小麥に至りては政府は之を如何ともすべからざるを以て、其の買收と拂下との價格を比較するときは、毎キヤンタールに付十法の損失を免れざることとなり、而して此の損害は結局租税として國民の負擔に歸するなり。

一、今や佛國民は未曾有の戦亂に際し、危急存亡の秋なれば、上下粗食に甘んじ、汎く燕麥裸麥等を食用に供せば、小麥粉の相場を制限するが如き必要なく、農民をして落膽失望せしめ、土地の耕作を廢止するに至らしむるの虞なかるべし。又殊更に數億法を投じて外國小麥の輸入を仰ぎ、徒に國

民の負擔を増加するの憂なからむ。

一、物價制限策は革命政府の時代に於ても既に施行せしことありと雖時の立法者は慎重なる考慮を須ひ、唯り小麥の賣買價を制限せずして、苟くも其の耕作に必要な物品の價格は悉く之を制限せしを以て、農民は得失相償ふことを得たり。然るに現今の制限策は耕作費の漸く増加するにも拘らず、之に制限を及ぼさざるを以て、農民は勢ひ苦況に陥り耕作を廢止するに至らむも亦測る可らざらむとす。

一、故に現時の物價制限法は貧民救濟として當を得ざるのみならず、農民の勇氣を鼓舞せず、又其の努力に酬わらず、徒に其の企業心を萎靡せしむ。蓋し農業政策上最も憂慮すべき現象にして、余輩は該制限法の一日も早く廢止せられむことを切望す。

\* \* \*

## 一 農産物價格の騰貴と公衆の苦情

佛國農村に於て、産出する食料品の數量を正確に知らむとするは寧ろ不可能なるも、其の價格の騰貴を舉示するは極めて易々たり。千九百十五年春以來、動植物性食料品の相場一般に騰貴し、現に頃者余輩がリムーゼン及シラントを通過しノルマンディー州よりロザムス州に至る迄の諸縣を巡視し、自から山藍(Mercurialis)を調査し其の數量を前數年と對照したるに、其の價格の騰貴が一般的にして且顯著なるは極めて明白なり。想ふに此の現象は地方的にあらず、又一切の農産品に波及せり。家畜、肉類、乳類、牛酪、乾酪、種子、穀類、果實、葡萄酒若は林檎酒に就ても、現時の相場を千九百十三年乃至千九百十五年間の平均相場に對比するに二割乃至倍額迄騰貴せしものあるを認む。

政府が其の調節に干渉し、若干の農産物に限り其の暴騰を制止するを得べきや疑なしと雖、凡そ物價は當然競争の緩急と取引自由の結果より生ずるものなれば、法律を以てするも決して其の實際の價格を變更するを得ずして、却

農産物價格の騰貴

物價制限の唱道せらるる理由

農産物の數量と騰貴

て其の取引を不便ならしめむ。加ふるに、政府の勢力は固より外國にまで及ばざるが故に、其の取引に就ては物價の通則に服従せざるを得ざるを以て、一切の輸入品は實價にて取引せらるることゝならむ。

前述したる農産物の騰貴に就き果して如何なる考慮を用ふべきや。

抑、騰貴は事情に暗きものを恐怖せしめ、其の利害に接觸する者を忿怒せしめ、公衆をして日用品の大缺乏に苦しましめむとす。加之精神上危懼の念に驅られて或は苦情を唱へ、或は政府の干渉を絶叫し、或は砂糖、鶏卵、乾燥野菜、鹽漬品、小麥粉の如き貯藏し易き糧食を買ひ蓄めせむとす。此の買占は更に其の價格の暴騰を招き、而して之が相場表に關する人心の動搖と相呼應するが爲、益々經濟界に於ける政府干渉の必要なる所以を證するに至れるが如し。

然れども、諒て考ふるに、方今に至るまで糧食は比較的豊富なり。詳言すれば、農民及び召集されたる其の妻子は非常なる艱難苦痛を排して、勞働を辭せざるを以て、農産物は物價の騰貴に現はるゝ程著しき減收を見ず。價格に倍

額の騰貴あるも、其の收穫は決して實際消費すべき總數量の半を減ぜしに、あらざるなり。若し佛國農産の状況に關し冷靜なる判断を爲さむと欲せば、徒に饑饉又は災害を喋々せずして、前記の事實に留意し能く之を了解するを要す。故に先づ相場の向上と收穫の増減とを明に區別するを要す。願ふに物價の騰貴は之が苦痛を唱ふる者の安寧を害するが故に、其の苦情も亦同情を以て傾聴せざるべからずと雖、動もすれば多數の人は今日決して忘るべからざる大事を等閑に付する虞あり。即ち今や吾人は戦時に在ること是なり。蓋し佛國は強固なる覺悟を以て戰場に立ち、空前の大戦に参加せり。其の爲め公衆の安寧に避くべからざる反響を及ぼすは固より當然にして、何人たりとも戦亂の結果に苦しまざらむことを冀ふは、條理に悖り且兒戯に類せるものと謂ふべし。

農産の状況に關しては戦争の反響果して如何。是れ即ち余輩が一箇年以上も費し蒐集したる一切の資料を利用し説明せむと欲する所なり。

## 二 佛國に於ける農産の新状況

本論を起草せし當時に於ては、佛國農産の状況は自ら二種の事實より其の特性を現はせり。先づ勞力の著しき缺乏、貨銀の暴騰、及有給労働者の非常なる要求は、即ち其の一にして、農民の購買利用する一切の材料の騰貴は、即ち其の二なり。

以下聊か右の二要點に基き説明せむ。

動員令が既に戦闘力を有せる農村の労働者、就中戦闘員の年齢に達せし耕耘の首腦者を擧げて奪ひ去りたるは何人も知れる所なり。農民の妻女、少年青年及老年者は實に極めて緊切なる農業上の豫備員にして、特に勇壯なる婦人は擧げて最も有效なる方法を採り、國民の生命を維持し、國防に力を協はせたり。愛國心は土地の宗教なりと嘗て言ひし者あり、蓋し至言なりと謂ふべし。最も熱心に其の宗教を遵奉せる者は佛國農民所謂國の從僕の外他にあらざらむ。

農業賃銀  
の騰貴

佛國農民の剛氣、經驗、及忌憚なく言へば一攫千金の慾望は農民をして佛國の土地を耕作するを得せしめたりと雖彼等は相當の賃金を要求する助力者の協力を待たざるべからず。然るに其の助力者は索むるに甚だ難きのみならず、其の食料と賃銀との兩方面に於て其の要求する所甚だ許多なり。農家の家僕及食料を供せらるゝ労働者の如きは、往々葡萄酒若は梨酒と少くも日々二食には肉類及珈琲を要求するを常とす。

然れども本件に關し注目すべきは、食料品價格騰貴の影響を蒙るべきは農業上の有給労働者に非ずして、親方又は使用人なり。又給料の増加は主なる食料品價格の騰貴よりも更に一層迅速にして、現に中央の諸縣に於ては十七歳の青年は家僕となり働き、一年に五百法乃至六百法(一法は凡四十錢)の給料の外、食料品を給與せられ、更に衣類の洗濯迄も使用人の負擔なりしが、千九百十五年に於ては其の賃銀は八百法に騰貴し、更に千九百十六年に於ては千二百法に暴騰したり。刈草期及收穫期中は農事繁劇なるが故に、同地方の農夫も千九

農事材料  
の騰貴

百十四年に於ては日に六法乃至七法の給料を得たるも、千九百十五年には七法乃至十法となり、續て千九百十六年には十法乃至十二法に騰貴したり。又農夫監督人は右の季節外に於ても優に日々三法の給料を收得するのみならず、婦人にも二法五十サンチーム(一サンチームは四厘)の給料を要求せり。

過磷酸石灰及硝酸鹽等の工業的肥料の價格も亦少くも倍額となりたり。又秣若は草根を補充する家畜用の糧食も八割の騰貴を招きたり。

尙ほ其の他の物價の騰貴は屈指に違あらずと雖、余輩は其の事情に通じたる諸士より聴取したる所を茲に記載するに止めむとす。

製車工夫、蹄鐵工夫の賃銀も二倍若は三倍となり、鋤刃の相場は二倍となり、諸農具の價格は三割より十割を増加し、尙其の騰貴は止むる所を知らざるが如し。

右の計數と對照し主なる農産の價格に關する計數を列記するは敢て徒事に非ざるべし。



約六箇月前即ち行政上の失策と輸送の困難とに依り未だ物價の暴騰を招かざる以前に於ては、農産の騰貴は未だ甚大ならざりき(但し茲に謂ふ價格は卸賣相場にして小賣相場に非ず)。

千九百十四年に於ては小麥一キントールの賣買價格は二十七法なりしが、其の後騰貴せしも物價制限の爲千九百十六年に於ても三十二法にして、其の騰貴は僅に一割八分に過ぎず。又大麥の賣買價格は千九百十四年に於ては二十法なりしが千九百十六年には二十五法となり、其の騰貴は二割五分に相當せり。燕麥は千九百十四年に於て二十二法なりしも千九百十六年には三十五法となり、五割一分の騰貴を示せり。

家畜に關して千九百十四年及千九百十六年の二年間に於ける最高の相場を左に掲げむ。

牛肉 (但生肉重量にて) 三割  
羊肉 同上 二割七分

農産騰貴の割合

豚肉 同上

十割

前記の計數に徴する時は豚肉を除くの外、肉類の騰貴は賃銀、肥料相場、家畜用糧食の如く劇甚ならず。之に反し乾酪の相場は殆ど倍額に騰貴し、牛酪は每基三法なりしも、約五法にて賣買せらるゝが故に六割の騰貴に相當す。又乳類も同一の騰貴を來せりと雖、世人は餘りに其の騰貴に着目せざるが如し。

或は曰はむ、「必要食料品の騰貴は豈悲しまざるべしや」と。

顧ふに食料品の騰貴は新なる農産の状況に照らし既に自ら其の理由明ならずや。若し賃銀及農具の價格如何を顧る時、何人か其の騰貴の已むを得ざるを否認するを得むや。

然れども物價の騰貴に關し世人の感想如何。彼等の見る所に據れば物價が絶えず向上變動するは公衆の安寧社會の利益を害せむとする一種の罪惡にして、糧食の騰貴は詐術、共謀、貪婪、買占の結果に外ならざるを以て、宜しく之を嚴罰するの必要を認むとなせり。或は更に進て賣買媒介者、巨商、受賣人、小

必要食料品の騰貴と世人の誤解

賣商を誹謗するに止まらず、今や農民をも罵倒するに敢て躊躇せず、農民が他人の利害を顧みず利益を壟斷せむと欲するものと信じ、土地、空氣、用水及太陽の價格に何等の變動なければ、隨て天然に産する農産も決して騰貴すべきものに非ざる旨を明言せり。然りと雖、是れ甚だ薄弱の理由なりと謂はざるを得ず。元來農業も他の工業の如く前拂金を爲すを要し、且生産の爲其の消費する代價は少くも其の收入に相當せざるべからず。而して其の前拂金中には賃銀、材料品、種子、工業的肥料、家畜の食料品をも含ひなり。然らば其の立替金の増加が勢ひ農産品の價格の騰貴を招くや、固より當然なりと謂ふべし。

故に農民は物價上進に就き責任の最も輕き者なり。物價を定めず、又農産の買占を行ひ、或は物價の騰貴を促進するに適當なる團體を組織するものに非ざるなり。且農民は團結すること極めて困難にして、現に佛國に於て農業組合を設立するに當り、其の議容易に纏まらず如何に至難なりしかは世人の普く知る所なり。況や佛國全土に涉り農業上の同盟若くは其のトラストを組

織するが如きは更に困難なるものあるを知るべきなり。

尙茲に最も留意すべきは假令佛國は饑饉の侵害を蒙らずと雖、賣買するを得べき農産の數量が二種の影響を受け減少せしや極めて確實なることを回想せざるべからざること是れなり。即ち其の一は勞働者の減少に加ふるに肥料貯藏高の減少にして、他の一は千九百十六年に於て大氣の作用が穀類の産出に有益ならざりしとなりとす。農産物の比較的缺乏は自ら其の相場に影響を及ぼし之を騰貴せしむるの外なきなり。然れども多數の人が必要なりとする過分の福利を計るに専らならずして佛國の資力を巧に利用することを知らば、佛國の農産は國民の需要に應ずるに尙餘あるが故に、餘りに上述の事實を誇張し又は猥りに饑饉を口にすべからざるなり。假令生産の方法は變遷し又産出の數量は減じたりと雖、尙ほ六十年前の平和時代に於ける平年作に優り多量の農産を消費するを得るなり。

故に千八百四十二年乃至千八百六十一年間に於ける毎年の小麥産額は平

均六千萬キヤンダール(一キヤンダールは我ニ十六貫七百多弱)に達せり。今若し千九百十六年の佛國の收納高にアルゼリー及チニーズの收穫高を合算するときは、千九百十六年の收納高は前記の數量に超過せり。又前述の時代即ちルイ・フィリップ王の時代に於ては、裸麥、玉蜀黍及蕎麥の如き劣等の穀類を汎く使用せしは事實なれば、政府が納稅者の負擔を以て外國麥の購買に供する數億法の費用を省き、前述の遺習を再び採用するも敢て何等の不可なきのみならず、之が爲佛國の財政は好況に赴き、又佛國人の勢力は之が爲毫も衰退することなかるべし。

世人は佛國の畜類減少せりと言へり。蓋し成長せる畜類が戦争の犠牲に供せられたるもの尠からざるが故に、其の數量の減少は余輩の否定せざる所なりと雖、其の缺損を補はむとする幼畜は往昔よりも迅速なる成育を爲し、且其の各頭の重量は五十年前よりも一層重く、假令其の減少したる現在頭數を用ふるも、第二帝國時代に比すれば尙且多量の獸肉を各佛國人に配當することを得む。各人の數量は千八百六十二年に於ては約二十キログラム(一キログラムは我ニ十兩)

畜類産出  
の増加

は我ニ二百(一キログラムは我ニ十兩)に過ぎざりしも、官廳の許量高に従ふ時は、其の數量は千九百年に於ては五十七キログラムに増加せり。されば佛國の畜類は十六年前に供給せし數量の半以上多く産出するを得べきや毫も疑なきなり。故に吾人の消費數量は依然として千八百六十二年に超過するを以て、誰か復現今を以て肉類缺乏したる饑饉時代なりと言はむや。

以上の見解は余輩が自ら聞知せし事實に依り愈々確實となり、夫のノルマンデー州のニブール縣、タリエー縣及ラップエルギユ縣に於ては、畜類の平均年齢は數年前に對比し幼若なるは余輩の現に目撃せし所なりと雖、其の頭數は遙に多く且其の體質佳良にして又其價格の騰貴は飼養者を獎勵せり。余輩がカンタル山に赴きしは九月末にて、恰も畜類の山嶺より降下するときなりしが故に、其の體質の良否を實見するは不可能なりしと雖、同地方には從來貯蓄の畜類は頗る豊富なりき。

吾人は戦亂の爲め多少の犠牲を忍ばざるを得ず。又先人の足れりとせし

所に努めて満足せざるべからず。是れ余輩が佛國農産の状況を篤と研究し感得したる所を遺憾なく陳述せるものにして、余輩の確認するに敢て憚る所なき事實なり。

### 三 物價制限問題と專斷的に物價を定むるの危害

物價制限主義者は家族多き家庭及中産以下の人士の名義を以て其の説を主張したりしが、公權の干渉を仰がむとする其の哀願及愁訴は、糧食價格の騰貴頗る急劇なりしを以て忽ち聽許せられたり。

千九百十五年十月十六日の法律は、先づ政府に被戰闘員の糧食の安全を計る爲小麥の賣買業を經營することを許し、小麥の製造者並に保有者を強制し之を徵發すべき旨を規定し、徵發したる穀類の所有者に給與すべき代價の最高額を毎キントールに付三十法と定め、之と同時に千九百十四年に廢止されたる海關稅を再び施行したり。然るに小麥の生産費は百基に付更に七法を増加したるを以て、爾來徵發權を利用するを得ざる個人に取りては其の營業

千九百十五年十月十六日法律  
小麥相場騰貴の爲め

は到底不可能となり、政府は事實上佛國の内外に於て小麥の專買を行ふ爲必要なる一切の權利を掌握することゝなれり。農民に至りては自由商業制に従へば、其の平常相場は毎キントールに付き三十五法若は三十六法に騰貴せしにも拘らず、所有穀類を毎キントールに付き三十法にて讓渡することに強制せらるゝことゝなり、其の後終に小麥粉も亦其の價格を制限せらるゝに至れり。

當時物價制限主義に熱心なる論者の一人は大膽に公言して曰く、「消費者は一基の麵麩を購買するに四十五サンチムを支拂ふを常とするを以て、一般生活費騰貴の時代に於ても貧困なる家庭及家族多き家庭が、依然として食料に必要な要素及佛國家庭の食用品の供給を受け得るは、敢て従前と異ならざるを知らむ」と。

然るに、事實上に於ては、小麥の生産者は、毎キントールを三十五法若くは三十六法を以て販賣するを得ずして、三十法にて所有の穀類を讓渡することに強

物價騰貴  
と政府の  
損失

第一章 戦時に於ける佛國農業狀況 二八〇

制せらるゝが故に食品の價格制限は悉く該生産者に五法乃至六法の犠牲を強ひ且政府は三十八法若は四十法にて購買したる小麥を僅に三十法にて販賣するが故に實に不利なる商業を營むに等しく而かも其の損失は當然納税者の負擔に歸するに非ずや。消費者が若干の費用を減ぜらるゝの利益に浴するは明かなれども其の結果は租税として其の一部を負擔することゝならむ。

余輩は今回の巡回中農民に負擔せしめたる物價制限より其の精神上に及ぼす悪結果を各所に於て實見し更に立法者の專横なる手段より惹起せし悲歎すべき結果を證明したり。其の他の穀類就中燕麥の如きは小麥と同時に其の價格を制限せられざりしを以て其の相場は忽ち騰貴せしのみならず其の騰貴高は小麥に比し頗る多額なり。因て農民は燕麥若は大麥を販賣し却て小麥を農家用の家畜に食せしむるを以て得策なりとせり。此の如き食品の轉換は現實に行はれ現に余輩は巴里市を距る百キロメートル(一キロメートルは我九

丁十)に於て馬の餌袋中に小麥の充滿せるを目撃したり。由是觀之右の如く家畜の食用に供せし數量は必ず之を補はざるべからず。而して農民が小麥粉を製し更に麵麩を製造する爲水車場に運搬すべき小麥を家畜に與へたるを以て政府は勢ひ高價を投じ外國に於て之に相當する小麥の數量を購買せざるを得ざるなり。然るに船積の地より該小麥を運搬搗碎し之を麵麩となし其の消費せらるゝに至る迄には其の運賃に依り價格騰貴し之が爲蒙る損失は莫大とならむ。又小麥の價格を專斷的に定むるや遠からずして他の一種の影響現はれむとす。即ち燕麥及大麥を耕作するは小麥に比し常に容易にして且つ春季に播種するが故に農民が其の播種地の面積を擴めむが爲秋季の小麥用の面積を減ずるや明瞭なる事實なりとす。平時に於ては如斯方法は常に農民の利益と相背馳せり。何となれば同面積の收穫と雖小麥の收入金高は大麥及燕麥に比し遙に多額なればなり。然るに小麥に價格制限ある爲事物自然の順序を轉倒し他の穀類の價格を騰貴せしめ却て小麥を下落

せしめられたれば普通穀類の産額を増し之に相當する小麥の産額を減ずるを以て却て農民の利益とする所となれり。

或は余輩の議論を以て餘りに外観的にして餘りに誇張的なる立論なりと言はむ。實際上余輩の列擧せし事實及指摘せし恐怖は農務大臣自身の證明に依り確實となれり。メリュー閣下が千九百十六年三月附を以て大統領に提出せし報告書中に物價制限の弊害を痛論し若し陸軍大臣が徵發令に依り内地に於て小麥を購買せむとするときは現今毎キャンタールの相場は三十法なるも之を三十三法に増加せむことを要求せり。今其の説を左に掲げむ。

『若し公衆及軍隊の食料品並に佛國財政の好況を冀はむと欲せば佛國の優良物産なる小麥の産額を増加するに若かざるなり。外國小麥の相場の騰貴するに従ひ愈佛國の爲には有益にして而かも其の騰貴は底止する所を知らざるなり。若し現今外國の小麥一キャンタールを佛國に輸入するときは、國庫は之が爲十法を失ひ貿易の危険を増進せしむるなり。』

物價制限  
に關する  
農務大臣  
の意見

佛國の農民は小麥の産出に全力を集注し其の缺損を勘からしめむとするに最大の努力を辭せずと雖、如何せむ開戦以來小麥毎キャンタールの價格を三十法と確定したれば、其の價格は既に廉價に過ぐるに尙且つ之を動かすを許さざるを以て農民の失望落膽以て想ふべきなり』

殊に昨秋來小失耕作の困難及其の生産費愈々増進して止まざれば、其の制限價格は益々不足となれり。故に農務大臣は其の生産條件の變化せし旨を明示し、且其の結論は余輩の説を確實ならしめたり。即ち曰く、『當省發行の最近の調査に徴するときは千九百十五年に於ける小麥の耕作反別は千九百十四年に比し四十七萬五千エクタール(我一エクタールは一町二十五歩)を減ぜしが千九百十六年に於ては決して夫れ以上に減ぜざるを期せざるべからず。耕作品の選擇は固より農民の自由なれば、佛國農民は生産費少くして其の收入の多き穀類を選択するは當然なり。然して燕麥及大麥は其の相場騰貴して止まざれば、農民は必ず之を選択せむ』と。

前述の理論により推究せば、穀類の商業を自由ならしめ併せて一切の物價制限を廢止せむとする結論に到達すべきも、賢明なる農務大臣は糧秣廠(Grain-entance)の買入品及現春季の小麥に限り標準價格を三十三法に増加せむことを要求するに止まれり。

此の要求に依り發布せられたる千九百十六年三月十四日の布令は實行し難きものなること明白なり。其の標準價格の引上げを單に陸軍省の購買のみに適用するものなれば、其の效能も微弱にして且一朝收納を終りたる以上は、春季の小麥と他の小麥とを區別するは殊に至難なりと謂ふべし。

然るに茲に吾人の最も了解に苦しむものは、政府は小麥の價格制限を廢止せずして尙進むて大麥、燕麥、裸麥のみならず、搗碎後の殘粉の價格までも制限すべき旨を決定せし事是れなり。千九百十六年四月十七日の新法は即ち之を目的とせるものにして、更に驚くべきは同年四月二十日の法律にして、該法は布令又は縣令を以て馬鈴薯、乳類及乾燥野菜の標準價格を定むるを許可し、

千九百十六年三月十四日の布令

物價制限法の擴張

更に最近十月三十日の法律は家畜食用の穀粉並に牛酪及乾酪の價格をも隨意に制限することを許可したり。

千九百十六年七月二十九日の法律

爾來農務大臣の舉示せられたる農民の失望落膽は愈々著明となり且危險となりたるを以て、千九百十六年七月二十九日の法律は一般に小麥の徵發價格を三十三法に増し、最近更に三十六法と爲したりと雖、生産者は政府が外國に於て購買する其の價格は夫よりも遙に高く、且佛國の賣主は亞米利加若は亞爾然丁の賣主よりも冷遇せらるゝを知れり。此の如き撞着を來たす理由は甚だ解し難く、嘗に穀類のみならず、乳類、牛酪、乾酪、乾燥野菜迄も價格を制限し、其の生産者の收入を減ずるは甚だ其の理由に乏し。若し是等に至る迄、價格を制限する以上は立法者は、決して農夫の賃金、農業用諸車の鐵類は勿論、農業家の購買すべき一切の物件の價格を制限するに躊躇すべからざるなり。

然れども立法者も亦農民の現状を諒察し且つ之を勸奨すべきを知れるを以て、昨冬に至り小麥の生産者に其の數量毎キヤンタールに付三法の獎勵金、又

農民獎勵金の關する提議

千九百十五年に於ける小麦用反別に超過せる播種反別毎エクタールに付二十法の奨励金を給與せむことを提議したり。然るに其の特別奨励金を拂渡さむとするときは、相當の検査を要し萬事に延滞齟齬を來たすべしとの理由を以て否決せられたり。

故に各方面より勇氣を鼓舞し社會の好意に訴へ有益なる一切の勞働を褒賞すべきときに際し、却て物價の制限制度を普及せしめ之が爲農民を落膽憤怒せしめ、國家無上の勤勞者及該制度の施行を完うすべき農民に報ゆべき代價を給與するを拒絶し、以て農民には單に勤勞を提供せしむるに止り工業生産物を販賣する者にのみ其の利益に浴せしむるなり。

國民議會  
と現政府  
の物價  
制限法  
の差  
等

國民議會の採用したる制限價格の法則も余輩は決して之を承認せずと雖、該議會の農民を遇するや現時の立法者よりも遙に公平寛大なりしことを是認するものなり。何となれば該議會は農夫の賃銀手當及耕作者の購買する一切の物件に至る迄其の價格を制限したればなり。故に現時の農民の待遇

は必ず悲しむべき結果を醸すべきは既に第一革命時代に鑑み自ら明瞭なりと謂ふべし。

農民の苦  
況

果して現時の物價制限法が農民の費用の増加せしにも拘らず、農産の賣買價格を減殺することゝならば、農民は竟に其の生産を停止するに至らむ。且失望したる彼等は其の任務を果すべき意思及能力を有せざるが故に、農産の數量は勢ひ減ぜむとするのみならず、其の制限が未だ不幸なる結果を來さるに先立ち、自己の當然の利益を防護せむとする農民と偏頗なる犠牲を彼等に強制せむとする政府との間に必ず確執紛議の起らむこと亦疑ふべからざるなり。而して若し生産者が市場に來て其の農産を販賣せざれば、其の住所に臨檢し、農民を強制して其の生産物を徵發すべきは勿論、之に反抗せば農民は現行の法律若は其の反抗を鎮壓するに足るべき其の他の法律に依り酷刑に處せらるゝなり。

往昔曾て前陳の法則を採用せしことありしが、當時革命議會議員の一名が



其の法則を評論して曰く、「余は徵發を目して暴政なりと言はずと雖、其の政策の效果頗る微々たることを認む。凡そ人間をして強て自ら衰亡に赴かしめむとする程至難なることなからむ。苟くも之を避くべき方法の伏在せるあらば、必ず之を發見するに努むるを常とす。假令如何に苛酷なる禁止令を施くも私の利益は巧に之を脱せむとするは人情の常なり。徵發を廢し寧ろ沒收せよ、足下は必ず嫌惡せられ、而して一層巧妙に欺惑せられむのみ」と。問はむと欲す。果して腐敗し易き食用品を徵發貯藏若は分配するを得べき哉。既に小麦に就ても此の問題を解決するは極て至難にして、政府は單に農民の穀物庫内の貯藏高を不動産と爲すを以て足れりとせむ。然れども馬鈴薯の如き腐敗し易き食用品に至りては前者と同一に論ずる能はざるや必せり。

又日毎に性質の惡變する牛酪の如きは之を如何に處置すべきや。是れ曩にセムカムテム伯が内務大臣に對し提起せし問題にして、同伯の言に曰く「關

下は牛酪及乾酪の貯藏高を徵發所有せらるれども如何に之を分配せられむとするや。宜しく徵發制度の歸着すべき所を察せざる可からず。夫の徵發と言ひ分配と言ふは果して何ぞや。其の歸する所は日々の食量を制限するに過ぎずや」と。

食用品の徵發は決して日々の食量を制限するに止まらずして其の生産を滅絶せむとするものなり。何となれば徵發に依りて其の効果を完うすべき物價制限法の悲しむべき結果は、農民に情性惡心を促すのみならず、其の所有地を拋棄せしめむとすればなり。

物價制限法の困難は從來の經驗に照らし、現今既に明瞭なる事實にして、人的に定められたる價格は其の平均價格を示すに過ぎず。而して其の確定相場にて取引せらるゝは劣等の商品にして、良質の商品は世に現はれず、若は物價制限法を免かれ、正當の相場を以て隨意に取引せらるゝなり。今回の調査中余輩は現に物價制限法の實行に關し奇怪なる實例を目撃したり。ロアー

ル流域地の某縣に於て當局者が馬鈴薯の賣買價格を定めれば、其の相場にて頻に賣買せられたり。然るに其の馬鈴薯は生産者が良品を拔擢せし殘餘の劣等なる小形の馬鈴薯種にして、良品は保存に至難なれば、生産者が高價にて之を販賣するの途に出づるに至ること亦以て知るべきなり。

又若し確定相場が地方に依り異なるときは、其の商品は忽ち賣主に取、りて利益多き地方に發送せらるべきを以て、隨て其の他の地方に於ては必ず饑饉の慘狀に遭はむ。

是れ曩に巴里市が地方に於ける實際價格以下に牛酪の相場を定めたと、きに當り同市に於て實見したる所にして、商品の發送者は他の市場に比較し高價なる商品に限り巴里中央市場に發送したるを以て、巴里市場の牛酪の着荷高は著しく減少し、之と同時に劣等の牛酪は其の供給の減少と需要の繁劇なるとに依り最高價格を以て販賣せられたり。然れども其の後必要に迫られ制限相場は終に巴里市及地方に於て廢止せられたるを以て巴里市の着荷

農事材料  
の制限する  
要する

高は續々増加し、隨て價格亦下落したり。

農業上生産に必要な材料費は間斷なく増減するが故に規定の相場も亦之を變動せざるを得ざるなり。之に關し千九百十七年の立法者をして過去の事績に通曉せしむることを得ば、彼等は須らく革命議會時代の一議員 (Comité venimeux) デコー氏が千七百九十三年に爲したる左の名論を玩味せずして可ならむや。

余は先づ條理と公平とを以て物價を定むるの困難なる所以を論述せむ。足下が穀物の相場を定むるに當り必要なる前提として種子及耕作費の前拂金、家畜農具の購入費、運賃、耕作者及小作人の勞銀をも積算せしは勿論ならむ。何となれば足下を生活せしめむが爲には彼等をも生活せしむるを要すればなり。若し穀類の規定相場が他の食品耕作上の前拂金、農業勞働者の賃銀の上騰と權衡を失することあらむか、農民は其の所有地を耕耘するも毫も收利なきを以て、之を停止するの已むを得ざるに至るべく、從

て翌年に至れば其の土地の多分は不毛となり、國民は將に餓死の憂き目に遭はむ。既に論述せし如く規定相場をして公平ならしめむと欲せば、其の相場と各種の前拂金、諸費、賃銀との權衡を保つを要すべく、又其の積算價格も間斷なく増減するを以て、勢ひ規定價格も亦日々高低せしむべきなり。敢て曰はむ、自由なる商業は獨り各種の高低變化に應ずるを得べきなりと。土地を耕耘せむが爲には牛馬を要す。然るに三年以前には三百法なりし馬匹も現今は千二百法若は千五百法に騰貴せり。足下の定めたる規定相場も果して能く此の如く驚くべき騰貴に従ひ改正せられたるや。若し靴製造家に一定の價格を六法に定むべき旨を命ぜば彼は答へむ。皮革の價格は既に倍加せり、又靴職工の日常は數年前には五十ヌーなりしも、現今は四法となれり。故に現今に至りては十二法を投ぜざれば一足の靴を製造するを得ず、之に相當する代價を支拂はるゝに非ずむば余は廢業するの外なしと。

生産費  
能定の不可

或は此の論辯に對し、一切の農産に就ては其の生産費と相當の利益とを參酌して其の價格を制限せし旨を答へむ。曩に縣知事が牛乳及牛酪、乾酪の代價を制限せむことを要求せられしときに當りても、此の方法を用ひたること亦疑なきなり。然れども生産費は増減極まりなきを以て、所謂制限價格は容易に生産費の高低に従ふ能はず、且其の生産費は各耕作地季節及農民其の人に依り各々異なるが故に、精確に生産費を計算するは不可能なり。故に縣調査委員の算出せし價格は精確ならずして、此所には高價に失するも彼所にては廉價に失するものあり、曩に製乳家に對し提起されたる起訴は其の結果牛乳の供給を寡少ならしめ、又生産費が収益以下に減ずるを甘むせずむば罰金に處せられ、若は更に重刑に處せらるゝ虞あるを以て、之を避けむが爲多數の生産者は牝牛を賣却せむとする傾向あり。此の點に關しても亦デュー氏の言は甚だ至當なりと謂ふべし。曰く、

凡そ物價と其の生産費との割合は足下等の算定よりも寧ろ事物自然の

勢より定まるを以て遙かに優れりとす。凡そ社會の取引は相互の利益の作用と契約の結果とに外ならざるが故に、若し社會の取引にして自由なるときは必ず公平を維持せらる。反之強制的に定められたる物價は動もすれば不當にして、其の結果は寧ろ物價を制限せざるの優れるに若かざるなり。

且現今政府の回達若は地方調査委員の所謂至當の利益とは果して何ぞや。假に農民の投ぜし資本を積算するを得るものとせば、其の利益は該資本の五分に當るや、將た一割に相當するや。蓋し至當なる利益なる語は其の意義甚だ漠然たるを免れず。實際上至當の利益とは生産者の競争と需要供給の密接なる一進一退より生ずるものならざるべからず。

#### 四 物價の騰貴と貧民の境遇

物價制限主義者の眼中にも貧民をして物價の騰貴より招致する一切の苦痛を免れしむる爲、食料品の騰貴を防止するを必要とするは余輩の詳知する

誤れる救濟政策

所にして、其の寛仁なる考慮は善良なる佛國民の名譽に背かずと雖、農民を落膽せしめ且饑饉を惹起すべき農産の價格制限を増大せば實際上果して能く不幸者を救濟するを得べきや否やを知るを要す。

今や實に農産の確實を圖り增收を期すべきときに當り、却て之を減殺し國民を衰退せしめむより、寧ろ別に貧民救濟の途を計るは遙に巧妙にして且機に適したるに非ずや。

願ふに世人は物價を制限し以て保護すべき貧民の數を殊更に多數に見積れるものゝ如し。此の點に關しては精確なる材料に基かざるべからず。余輩は同時に極貧者の救濟に要する豫定の經費が世人の豫想するが如く莫大ならざる所以を明示せむとす。

先づ最初に注目すべき事實は、農民の多數は悉く食品價格制限法に依り保護せらるべき者なるにも拘らず、却て彼等の失ふ所は其の得る所に比し遙に大なること是なり。現に農民は、一切の食料品と言ふを得ざるも、其の食料品

の大半は自ら製造するが故に、其騰貴は農民の爲毫も凌ぎ難き苦痛を醸すことなきなり。若し農民をして自由に算定せし價格を基礎としたる正當の利益を實收するの便を得せしめば、却て其の地位を向上すべきは争ふべからざる事實なりと謂ふべし。

農家の有給雇人は之を二種に區別するを得べし。其の一は農家に住食する家僕にして、他の一は農事中一回の食膳を供せらるゝ日雇人はなり。第一種の雇人は他の家僕と均しく毫も食品騰貴の苦痛を感ぜざるや明かなり。又第二種の雇人は騰貴の苦痛を感ずるも僅に其の一部に過ぎざるなり。加之男女の日雇人並に家僕に取りては其の手間賃の著しき増加は食料品の騰貴を賠償して餘あるのみならず、就中村落に於ては農業労働者の家族は相當の菜園を所有し之を耕耘し相當の利益を收むるを常とす。殊に日雇人中には土地の所有者も決して尠なからざるなり。之を要するに佛國農民は物價制限法の制定若は其の維持に何等の利害關係なく、而かも佛國農民 (population

有給雇人と  
騰貴の  
労働者の

agricale) (農村人民 population rurale と混同すべからず) は佛蘭西國總人口の四割五分に相當せるを見れば、此の計數は決して忘る可からざるものにして、又本論起草の教訓指導者たらずむば非ず。

其の他の社會團體即ち工業家、商人、官吏、及自由職業を營む者の中には貧困者は極めて少數なりと雖、今や彼等は貧富の別なく物價制限の利益に均霑せざるなし。

商業工業運送業等の有給雇員が亦此の利益を受くるや疑なし。殊に失業に關する統計は更に余輩の所信を確實ならしめ、且其の勞銀が十八箇月若は二箇年以來忽ち騰貴せしは又何人も知る所なり。余輩は地方に於て特に婦人の勞銀に關し尠からざる材料を蒐集せり。鑄造場、製造所、工場の勞銀は少くも倍加せられ、尙婦人労働者に對しては過度の慈惠にて多數の救恤舍配當せらる。

貧民救済に關する諸機關も亦決して其の事業を停止せず。社會連帶の事

貧民救済  
機關の活  
動

業は公私とも物價騰貴より惹起せし困苦を防ぎ多數の不幸者を保護するに努力しつゝあるは忘却すべからざる事實にして、如斯事業の發達は甚だ慶賀すべき所なり。然りと雖も余輩は政府若は私立慈善事業の任務は敢て貧富の別なく購買すべき食品の相場を制限し之を下落せしめざるも他に其の不幸者を遺憾なく救済するを得べき途を採るべきものなりと信ず。農業家に強制せる犠牲並に政府が廉買して蒙る損失は、必ずしも救助を受くべき者を救助するものと認め難し。若し物價の制限にして眞の貧困者のみに救助を與ふることゝならば依りて以て如何なる影響を生ずるも誰か敢て之を難するものあらむや。是實に往時革命會議員が國庫の莫大なる費用と物價制限の影響とに驚愕し明言せし所なりとす。リッショー氏の言に曰く「農業を衰頽せしむる物價制限法に依り農業上の資本を他に遷轉せしむることを慎まざるべからず。若し政府が高價を以て各種の食料品を海外より輸入し更に之を制限價格を以て内地に於て販賣するときは、之が爲共和政府に於て多額

物價制限  
に關する  
リッショー  
の意見

の費用を要するにも拘らず救助の必要な貧富者も亦貧者と均しく自ら其の利益に浴するに至らむ。然るに新定の法則制限價格の廢止に於ては軍隊の爲蒙りたる損失及眞の貧民に限り救助を與ふるに止まるものとす。

### 五 結論

農村の現状を親しく觀察したる結果より推論するときは、物價制限法は其の適用の範圍を間斷なく擴張し以て農民を落膽せしめ農産を減殺せしめ、吾人を強制して海外に於ける購買高を増加せしめむとす。而して政府は其の購買品を廉價に販賣し中立諸國の市場に於て其の騰貴を促進せしむるに至る。實に物價制限法は佛國の農産を饒多ならしめむとする農民の勇氣を鼓舞せず、又其の努力に酬ゆる所なきのみならず、却て個人的利益を計らむとす。其の個人の利益、即ち現今に於ては非常の努力を俟て始めて收得すべき正當の利益を得むとする希望は、是れ實に暴行強迫を行はずして同時に各地に於て取引相場を定むるに足るべき標準ならざるべか

物價制限  
及政府  
の購買  
の弊害

らず。

町村有地若は農村の官有地中には實際上抛棄せられざるも、休耕地に屬し若は牧畜場となれる若干反別の土地あるを常とするを以て、何れの町村を問はず數十エクタールの土地を農業上若は工業上の労働者、日雇人又は家族多數の家庭の用途に供することを得ざるものなかるべし。若し其の土地を耕耘せむと欲する者の使用に供せば、彼等は強制的必要と個人の利益とに由り馬鈴薯及生野菜若は乾燥野菜の産額を増加すべく、尙若干アールに播布せし種子は優に一年間一家族を養ふに足るべき産額を收納することを得む。然るときは敢て徵發權を行ふの要なく、隨意協議の後其の所有者に賠償し以て其の個人的利益を誘起すれば則ち足らむ。故に各々農産物の増加を必要とするものは皆此の計畫に於て勞働するを敢て辭せざるべきを信ず。

又他の觀察點即ち食料品の節約を實行せむとする方面より觀るも物價制限は攻撃を免れざるべし。是れ該制度は必要なる努力を不可能ならしむれ

ばなり。余輩は固より貧民が購買するを得べき食料品の數量迄も減じて其の日々の食量を定むるを欲せずと雖、若し貧民が現今の食料品の代用品を利用せば其の消費すべき食料品を巧に利用するを得べし。余輩が既に舉示せし如く若し此の國內の消費高を積算するときは、現今國民一人當の食量は、六十年前に我父母の使用せし數量に比すれば、其の遙に多量なるを知る。

何故佛國民は此の危急存亡の秋に際し、先代が足れりとせし物質的安寧に満足せざるや。又何故現時の國民の要求を正當なりと思惟するや。又消耗品の品質より見るも、何故千八百五十年頃の人々の甘んぜし種類の消耗品を攝取せざるが。

以上縷述するが如く、徒に事實を陰蔽せずして之を暴露せよ。公衆をして眼前に其の實情を目撃せしめ、市場の實況を明にせよ。其の價格の騰貴は須らく將來の不幸を豫防し若は大災害を避くる爲、生産的精神を褒賞するを要す。其の危険と災害を醸成するは物價制限、徵發及政府購買の法則にあらず

して何ぞ。其の影響の輕視すべからざること、或は茲に決定的に斷言するを得ずと雖、余輩は其の未だ現はれざるに先立ち該制度の廢止を切望して已まざるものなり。

（以下は非常に淡く、ほとんど不可読な文字列が続く）

## 第二章 獨逸農業問題

（一九一七年十月二十日佛國經濟雜誌所載）

【摘要】一、本論は千九百十七年十月五日巴里經濟協會例會に於て、主として同會員ギョイシエン子爵が獨逸農業問題に關して爲したる講演を記述せるものなり。

一、同子は先づ露獨間の通商條約に關し其の沿革より説き、千九百四年の條約は全く露國の外患に乘じ獨逸の強制したるものにして、露國の被むる不利益尠ならずとせず。反之獨逸の最も苦しむ所は、糧食補給問題なるを以て、獨逸は該條約に依り穀類の輸入を容易ならしめたり。

一、獨逸は露國より糧食の補給を受くるのみならず、勞働力の供給亦是に仰がざるを得ざるを以て、露國との開戦は戦時及戦後獨逸の最も苦しむ所なりと謂ふべく、露國との媾和は亦其の最も急務とする所なり。



一、要するに獨逸は露國を征服して經濟上最も有利なる條約を締結し、以て農業問題を解決せむとするは柏林政治界の熱望する所にして、戰亂勃發の原因亦此に存するものゝ如し。

露獨經濟上の關係

ギョインゲン子爵の説明に依れば、獨逸國は曩に農業國なりしも、同國就中普國は漸次農業を第二位に置くに至れり。是れ全く汎獨逸主義及帝國主義の結果に外ならず。隨て此の變遷に由り食料品に關しては人口の増加するに隨ひ愈々外國の屬領たらざるを得ざるに至れり。千九百十四年に於て同國の人口六千八百萬に及び、而して其の食品供給者の首位を占むるは露國なりき。抑々兩國間の經濟上の關係は、其の因襲極めて久しく、同氏は千九百四年七月二十八日に締結せられ、千九百十七年七月三十一日まで繼續せる獨露通商條約に論及するに先立ち、其の經濟上の關係に就き頗る有益なる沿革を説明せり。

獨露通商條約の結果

該條約締結の當時は日露の戰爭正に酣なる時代にして、三十年來の獨露の關係に通曉せる者は、獨逸國が野心を藏して佛國を孤立せしむる爲め露國を極東に驅逐せるを知れるが如く、日露戰爭の責任は全く獨逸に於て負はざるを得ざるなり。千九百四年の條約は獨逸より強制せられたるものにして、露國は僅に裸麥、小麥、燕麥、牛酪、馬匹等の輸出に就き特權を得たるに止まり、却て露國に輸入せらるる獨逸國の工業品は、其の價格に於て五割を増加せり。若し農産物の輸入税率を増さむとせば、勢ひ獨逸國の工業に不利益を來さずむば、當事國間の承諾を得る能はざりしなり。該條約の滿期四年前即ち千九百十三年以來本條約の更改に際して、露國に於ても又獨逸に於ても非難反抗起れり。

通商條約の締結と露國の輸出の衰退

露國に於て多數の商工業組合は該條約全文の改正を要求し、又一切の新聞雜誌は論鋒を揃へて、千九百十三年の露國は決して千九百四年の露國にあらざる旨を揚言し、ホルステン博士は千九百十四年キエフ港輸出業者の聯合會

獨逸と新  
締結の條約獨逸の農  
業と露國の  
農夫との關  
係

に臨み、「露國は獨逸の植民地として甘んずべき哉」と絶叫し、且同博士は、獨逸が露國を各地の市場より驅逐せしを以て露國の輸出は益々銷沈せる旨を説き、農業保護主義を執れる國、即ち英吉利、白耳義及和蘭國に依りて著しく妨害せられざる市場に於て、常に優勝の地位を占むる露國の勝利を過賞したり。

今や獨逸は他の一切の問題は姑く措き、露國の戰敗に乘じ甚だ不利益なる新通商條約の締結を露國に強制せむとするに好機會を得たりと謂ふべし。

眼前に横はれる急迫の政治問題、及殊に獨逸に取りて重大なる東洋の鐵鑛利用問題を措き、獨逸に於てスラッ人種なる大國との通商條約程緊切重要な問題の存せざるは、蓋し何人と雖首肯せざる者なからむ。現に専門家は新通商條約の締結が、未曾有なる種々の困難を醸さむとするを豫想せり。

獨逸國が露國に仰がむとするは、食料品の外尙勞力の供給あり。曾てターグ紙は帝國議會議員ペーランズ氏の名に於て記述して曰く、「農夫問題は獨逸國民に取りては耕地及國民人口の點に於て獨逸國民の糧食並に其の抵抗

獨逸と露國  
通商條約の  
經濟問題コンラド博士の  
意見

力の方面より觀察するも、實に緊要なる問題の一にして、現に毎年六十萬人の露國農夫は國境を越え來つて東部普國住民に其の勞力と經驗とを提供せりと。

今後一朝戰爭終熄せば獨逸に於て農夫供給問題の起らむこと期して俟つべきのみ。而して同國は隣接の諸國殊に露國の援助を仰がずむば、到底該問題の解決を爲し得ざるが如し。

ギニンセン氏は更に論鋒を進め、千九百十四年に於て露國は既に獨逸の束縛に服従する傾向なかりし旨、各種の材料に就き詳論し、就中埃國新聞「アスエスト」紙に掲載せられし如く、千九百十四年三月に開催せられたるゲキテ伯と會見の席上に於て、同伯が獨逸通商條約の満期と經濟問題とは兩國間の外交關係に怖るべき影響を及ぼさむとする旨を明言せしことを擧示せり。

又コンラド博士は「國家經濟及統計」年報中に記述して曰く、「萬一露國との間に戰爭勃發せむか、獨逸の土地所有者は全く播種及收穫の便を失はむ。

(中略)之が爲め露國は新に通商條約を締結するに當り、我に壓迫を加ふるを得べきや、毫も疑なきなり」と。

開戰約十五年前にヘルフェリッヒ氏は、漢堡港に於て演說の際、左の如き奇怪なる宣言を爲せり。

方今獨逸は小麥需要高の三分一乃至四分一、及裸麥需要高の十分一を輸入に仰ぐが故に、開戰の場合に於ては必要缺くべからざる其の輸入は忽ち杜絶し、假令國境の軍隊が如何に勇敢なるも、帝國は忽ち包圍せられたる城砦の如く、饑饉に苦まむとする危険あり。然れども此の如き場合に際會せば、我が陸軍に對する深き畏敬心は、能く如上の危惧を一掃するに足るべきを信ず。殊に獨逸國周圍の地形は永く穀類の輸入を遮斷するを得ざるべし。蓋し獨逸國境は南北海に面し、且つ和蘭、白耳義、佛蘭西、瑞西、奧太利、露西亞の諸國と境を接するを以て、穀類を輸入する海陸の通路が悉く同時に閉鎖せらるゝが如きは、全世界同盟して獨逸の敵となるに非ず、むば到底想像

ヘルフェリッヒ氏の演說と獨逸の地位

獨逸の其の苦境と農業問題

露獨相互間の輸出高の増加

するを得ざるなり。然れども瞬間と雖其の同盟の成立を許すことあらば、是れ全く獨逸外交政策の無限に拙劣なるに歸着すべきなり。獨逸政府は今や王位の後援者たる大地主に不満を與ふるか、或は營々として新販路を要求しつゝある工業を犠牲に供せむとするか。ギイシエン子爵は嘗て伯林市の或る文豪との會談を回想し、且つ曰く、「當時種々談話を交へしとき對談者は忽ち深く憂愁の態度を保持して曰く、今や吾人の最も考慮すべき急務は農業問題なり」と。是れ實に深刻なる自白にして、又最も留意すべき自白なりと謂ふべし」と。

露獨間の通商關係は開戰前に至り非常なる發展を爲し、獨逸に對する露國の輸出高は最近十年間に八億馬克(一馬克は凡五十錢)より忽ち拾七億馬克に達せり。又露國に對する獨逸の輸出高は、千九百九年に於ては四億四千萬馬克に過ぎざりしも、千九百十三年に於ては十二億馬克近くに達し、而かも其の計數は千九百十三年に於ては殆ど一億二千萬馬克に達せし獨逸フィンランド間の貿易

高を含まざるなり。今や獨逸はヘルフリッヒ氏の憂苦を實現せるが故に、若し開戦の當初より封鎖を實行するを得ば、蓋し戦争は今日既に終熄せしならむ。更にギンシエン子爵は十五箇月若くは十八箇月前に行ひたる羅馬尼國の收穫の買収は、獨逸をして不名譽なる靜謐を持續せしめたる旨を立證し、且曰く、「爾來同國の收穫より來れる補給高と中立諸國の輸入とは我敵國の滅亡を遲延せしめたる所以なり」と。

以上列叙せし事實は、何故に各種の獨逸新聞及専門的團體が擧つて其の耕地の不足を補充するに足るべき土地を要求するかを闡明するに餘あらむ。元來獨逸は農業國なりしも一變して工業國となりたるものなるを以て、今や須く其の均衡を恢復すべき時期なり。フランツ・マンメン博士の指揮の下にてドレスデン及ライプツヒヒ市に於て本年出版されたる著書に曰く、「獨逸の農業が戦後に至り自ら農産の不足を補充せむとするは到成不可能にして、寧ろ反對の事實が却て最も信ずべきなり」と。

更に語を繼いで言ふ所に依れば、前陳の農業問題は獨逸宣戦の最も顯著なる原因の一にして、且方今獨逸人は中央歐羅巴の聯合を組織せば依つて以て帝國に缺乏せる所を供給するを得べしとの妄想を懐けりと雖、之が爲めには幾多の困難に逢著すべきを以て、獨逸は専ら露國の方面に着眼し、隨て同國と經濟上親密なる同盟を結ばむとするは伯林政治界の熱望する所なるが如し。又リクノウスキ公は伯林日報に記載して曰く、「露國との和睦は一日も缺くべからざるなり」と。タールグ紙も同説を固執し、故シモラー博士亦頻りに此の説を主張せり。

數週前に著名の政治家議長となり伯林市に事務家、財政家及工業家を以て組織されたる有名なる會合開催せられたるが、該會に於て戦後獨逸をして食料補給の便を得せしめ、隨て媾和の後惹起せむとする各種の困難を防がむが爲め、各中立國に對し劇甚なる活動を爲さむとする旨を議決したり。即ち中立國商工業會社の株券を買収すること、獨逸人は私立會社に進んで雇はるゝ

こと、徐々として而かも確實に外國に侵入すること等にして、斯の如きは實に伯林政治社會の最も熱望する所なるが如し。

シノーレー氏は獨逸に移住する露國人の動靜に關し反覆論述し、一箇年の移民六十萬人なりと稱せらるゝも其の實九十萬人なる旨を擧げ、且つ露國より獨逸に輸入されたる穀類の數量中、關稅免除の規則に従ひ獨逸に於て加工の上露國に逆輸入せらるゝもの尠からざる旨を注目せしめたり。

然るにポール・ル・ミュレー氏は千九百十四年十二月國立農會に於て發せし通信に基き、獨逸は世人の主張するが如く其の糧食に就き外國の屬領たらざる旨を辯明したり。又ヴァレン氏は本會より招待せられ、瑞西國の遭遇せる困難なる地位に就き訴ふる所あり。瑞西聯邦政府が獨逸大使の熱誠なる代表的交渉と聯合諸國代表者の調停的通告に接せしことを示し、同國は常に間牒の動靜に留意し、獨逸に輸送の糧食は單に同國を通過せしに止まり、聯邦政府は決して自ら獨逸に之を補給せざる旨を縷述し、終に臨み雄辯を奮ひ、瑞西人が

露國の移民數

瑞西の局  
外中立と  
其の苦境ド、エイ  
ク、ター  
ル、の  
獨逸  
觀氏

正義の爲め中立の地位に立ちたる所以を信ぜむことを聽講者に懇請したり。ド、エイク、ター、ル氏はド、ギ、イ、シ、ン氏の極めて資材に富める説明中に現はれたる見解に従ひ、獨逸が露國に對し戰を挑みたるは全く經濟上の原因に胚胎せる旨を説き、其の原因中間斷なく増加する獨逸人の糧食補給の必要を以て其の最なるものとし、軍國主義の黨派中にも極めて重要な地位を占むる大地主が、如何して露國農産物の輸入に依り小麥の如き獨逸固有の農産物との競争を劇甚ならしめむとする者と相結び、大地主の利益に反する目的に隨ひ開戰主義者と相提携して、以て戰爭を挑發するに至りたるかを知るに苦しむと述べたり。

ギ、イ、シ、ン氏は直に之に答へ、獨逸國は今後糧食の爲め外國に屈從するを避けむが爲め耕地を掠奪せむと欲するものと爲し、又ク、イ、ル、セル、ス、ヌ、イ、ユ氏は主權を占めむとの慾望と經濟問題との間には何等の關係なき旨を特に擧示したり。

### 第三章 佛國セーナ縣債の募集

(一九一七年十月三十日佛國經濟雜誌所載)

【摘要】一、セーナ縣知事は千九百十七年度の經常豫算の缺損高及臨時事件費を補充せむが爲、一億三千二百萬法の縣債募集の議案を同縣會に提出せり。然るに縣會は更に八百萬法を加へ一億四千萬法の起債を可決したり。

一、縣債を募集するに二途あり。一は汎く之を民間より募集し、一は著名なる金融機關をして縣債の全額を引受けしむるに在り。因てセーナ縣は多數の銀行に交渉したるが、元來縣知事は縣債の總額を五百法券に分割し、其の發行價格を四百九十五法、利率を五分五厘と定めたりと雖、多數の銀行は其の發行價格を四百九十法に改めむことを要求し、又或る銀行は他の條件に就き縣知事の意見に同意するも、其の發行價格を四百九十四

法五〇とし、利率を五分七厘五毛に増さむことを主張したり。

一、縣知事は更に佛國の二大金融機關なる土地抵當銀行及國立養老金庫に縣債の引受を交渉したるに、養老金庫は目下之に應ずべき餘金なきを以て之を拒絶し、土地抵當銀行は最近に多額の借入を爲し、隨て資金豊富なるを以て左記の條件に従ひ應募せむことを申込みたり。即ち其の金額を數回に拂渡し、各拂渡金に對し諸費を合せ年額六分八厘一毛の利子を支拂ふべきものとす。

一、縣會は去七月十一日の議場に於て審議の後、新債券の利率は百法に對し六分八厘五毛を超過すべからざる旨を議決し、起債の申請を爲せしを以て、參議院は去八月十九日附布令を以て之を認可したり。

一、縣會は前陳の縣債を擔保し且豫算の缺損高を補充する爲、今後五箇年間に四直税の本税に對し十五サンチームの附加税を賦課せむとの決議を爲し、之が認可を主務官廳に稟請せむことを縣知事に促せり。然れども尙

縣の施行すべき事業からざるを以て、右の補充財源が果して前述の支出を填充するに足るべきや否やは識者の疑ふ所なり。

\* \* \*

セーヌ縣會は去四月七日、左記の議案に關し同縣知事に對し縣會の開會を請求すべき旨決議せり。

一、經常的及確定的手段に依り縣豫算の缺損を補充すべき財源を造成せむとする議案。

二、セーヌ縣流動債の借換案。

因てセーヌ縣知事は右の請求に應ずる爲、終に五箇年間に償還すべき一億三千二百萬法(一法は凡)の縣債を募集せむとする七月二日附の覺書を同縣會の決議に附したり。縣會は乃ち七月十一日該議案に就き討議し一億四千萬法の増加決議を爲したり。

起債額に關する縣知事の意見

流動債借換の要旨

縣知事と報告委員との意見と報告委員との意見との差額

縣知事の覺書に記載せる詳細なる説明並にアンリ・セリエー氏の有益なる報告に従ひ、セーヌ縣財政の現況及前記の決議を採用するを必要なりと認めたる理由を審議するに先立ち、該縣債と同じく五箇年期限を以て募集されたる最近の巴里市債に關し起りたる同一の事實に注目するを要す。是れ他なし、前記の如き短期の借換は流動債を固定公債に借換ふると言はむよりも寧ろ單純なる延期、償還期限の繰延若はドーセー氏の説の如く、延期的整理(Consolidation différée)と爲すを以て穩當とすべきこと是れなり。

本件の大體上に關しては縣知事及豫算報告委員アンリ・セリエー氏は其の意見を同うせりと雖、多少異なる一點は、時局の爲め生じたる負擔の追加額若は收入の減少を引去りセーヌ縣經常豫算の永久確定の缺損金高如何に在り。ドランネー氏の言ふ所に據れば要するに千九百十七年度の見積り缺損高七百七十萬法は時局の影響に由る附加税の缺損高三百萬法及本縣に於て瘋癲病者救護事務の爲め負擔すべき支出の純増加額百七十萬法を控除すれ

は、缺損高は三百萬法に減ずと爲すを得べし。然れども縣知事は經常收入に對する經常支出の超過高三百萬法に尙ほ縣有財産(建物、道路)の修繕又は復舊事業に供すべき追加額を加算せざるべからざるを以て、缺損高の合計は六百萬法と爲すべしとし、又報告委員は従前より既に其の缺損高が一箇年殆ど九百萬法若は一千万法に降らざるものと見積れり。

セーヌ縣流動債は次の方法を以て募集せられたり。先づ巴里市の應募せしセーヌ縣債券は合計四千六百二十二萬二千七百法にして、即ち(一)千九百十六年三月三十日及三十一日に發行せられ、更に本年三月三十日及三十一日契約の改定を爲したる第一回發行債券千九百五萬二千七百法にして、該債券の利率は當初一箇年五分七厘九毛なりしが、千九百十六年十二月三十日財政法の規定に依り有價證券税の四分の利率を五分に改正せられたる結果、契約を改定せし債券に限り従前の利率を五分八厘五毛に増加したり。(二)本年三月三十一日に應募せし第二回發行債券二千七百十七萬法にして利率は一箇年

セーヌ縣  
市債と巴里  
市の引受  
高

セーヌ縣  
七千九百  
支年度の  
と其増額  
と其増額  
高

五分八厘六毛なり。以上の計數を合算する時は、總計四千六百二十二萬二千七百法なりとす。更に之に加算すべきは、(甲)第二回發行の債券中時々償還を延期されたる殘餘の債券一千五百萬法、(乙)千九百十七年度の豫算の權衡を保持する爲四千七百萬法迄發行を許可されたる第三回の發行高なり。今之を合算する時は一億八百二十二萬二千七百法にして、是れ即ち既に發行し若は發行を許可されたるセーヌ縣債の總額に相當するものなり。

縣知事は其の覺書中に千九百十七年度中に新に支出すべき經費を豫定すべき旨附記し、報告委員の意見に従ひ其の支出高を二千三百五十萬法に見積れりと雖、縣會が多額の追加負擔を招かむとする若干件の決議を爲したるが爲め更に八百萬法以上を増加するを要するに至れり。即ち被動員者の兒童に給與する二十五サンチーム(一サンチームは凡四厘)の割増給與金第二期分一千七百萬法、既に募集せし縣債の利子二百五十萬法、郊外町村に市有石炭貯庫を建設せむとする費用中縣の分擔額七百八十萬法、職員に給與する諸手當金の増額三



セーヌ縣  
流動債の  
種類

セーヌ縣  
債の募集  
と其の整理  
の財政

百萬法、豫備軍需品の補充費百四十七萬七千三百法にして、合計は三千百七十七萬七千三百法となるなり。然るに右の金額に既に發行し若くは發行を許可されたる前記債券金高一億八百二十二萬二千七百法を加算するときは、流動債の金高は千九百十七年度末に至れば實に一億四千萬法に達せむとす。故に巴里市に對する債券の償還金として豫算に掲載されたる四百五十九萬法の金額は自由に使用するを得べきものとなりたるも、該金額は食料品の臨時貯藏の爲留保せられたり。

現今應募せられたる縣債は四千六百萬法を超過し、其の餘の發行は恐らく千九百十八年中に非ざれば發行せられざるにも拘らず、今更に一億四千萬法の縣債を要求せしは實に驚愕に堪へざるなり。然れども縣會が縣財政狀態を唯一回整理を遂げむと欲する以上は、同縣會の決議せし總金額を採用するは已むを得ざるものと謂ふべし。加之セーヌ縣財政の豊富なるは特別の一時的事由に依るものにして、早晚其の消滅すべきは明かなり。何となれば

政府は戰時給與金を受くべき軍人の兒童に給與する二十五サンチームの割増金に相當する立換金の償還を無限に遷延することなかるべく、又千九百四年の縣債の資金も一時流用せられたれば、今や各其の適法なる充用を爲すが爲縣出納部に返還せらるべきを以てなり。尙茲に注意すべきは知事の指示したるが如く、縣が巴里市を見るに、銀行家を以てし、之に依頼せば、必要なる資金は何時にても收得するを得べしと信ずと雖、巴里市が貯蓄金を以て餘りに頻繁なる要求に應ずるを避けむが爲、セーヌ縣の發行せし債券の應募に由る重荷を軽減せむとの希望を現はすの時期は、蓋し遠き將來に非らざるべきを豫期せざるべからざることは是れ也。

又若し流動債を永く維持するときは、屢々契約の改定を要する爲相當の費用を要するが故に是亦輕視すべからざる事實なりとす。セーヌ縣は巴里市が縣債募集に應ぜむ爲發行する市債券に就き其の負擔せし一切の費用を同市に返還すべきは勿論なりと雖、新に縣債を發行し若は關係債券の借換毎に

流動債  
の募集と  
契約改定  
の費用

セーヌ縣  
と市豫算  
の比較

必ず此の負擔を生ずるものとす。

今セーヌ縣流動債の累進的增加を知らむが爲、若干年間の巴里市豫算とセーヌ縣豫算とを對照するに、千八百八十年乃至千八百九十七年間に市の豫算は四十五プロセント、縣豫算は三十八プロセントを増せしが、千八百九十七年乃至千九百十四年間に於ては市豫算の増加は四十三プロセントに過ぎざりしに反し、縣豫算の増進は百七十五プロセントの莫大なる割合に達せり。更に千八百八十年乃至千九百十四年間に涉り之を比較するときは、市豫算は百六プロセントの増加にして、縣豫算は二百八十四プロセントなり。又千八百八十年に於ては縣歳出は市歳出の一、三三プロセントなりしも、千九百十四年に於ては二〇、八七プロセントに達したり。

上述の如く既に一億四千萬法の起債の原則を採決せし以上は、今後決定すべきは如何にして之を募集すべきかの問題なり。蓋し本件に關して二種の方法あり。其の一は直接若は銀行を経て汎く民間より募集するに在り。又

縣債募集  
に關する  
法二種  
の異なる國立養老  
金庫に於  
て負債引  
受の理由巴里市債  
の實例

他の一は法律上資格ある金融機關をして其の負債の總額を引受けしむるに在り。曩に大工事費と稱し千九百四年二月十二日の法律を以て許可されたる縣債を募集せむとするに當りても右兩種の方法ありしが、當時主務官廳は目下セーヌ縣債は社會に流通せず、且同縣が民間より募集せしは僅に千八百五十七年發行の負債に過ぎざるを以て、隨て市場に於て未だ其の署名知られざる旨を警告せり。故に縣の信用如何に確固なりと雖、前陳の如き状態なれば資本家に取ては全く新證券なるを以て、公衆中には或は巴里市債と同一の利益に浴するを得ざる懸念を懷く者あらむことを憂へしめたり。因て縣會も亦此の意見に同意し、終に國立養老金庫と貸借契約を爲すに至れり。

現時の状態は恰も前陳の事實と相似たりと雖、主務官廳はセーヌ縣會をして縣債の募集上全然自由ならしめたるを以て、知事は開戦以來巴里市債の大部分を引受けたる諸銀行に一應交渉せざるべからずと信ぜり。因て其の募債上巴里市債の募集を以て最も緊要なる比較材料と爲せり。即ち最近の巴

里市債六億三千二百萬法は五百法の額面券百二十七萬六千七百六十七通と爲し、其の發行價格を四百九十五法と定め、之に五法の獎勵金(Prime)を附し、千九百十七年六月十五日より起算し、五年間に償還せらるべく、且利子は現行の諸税を除き五分五厘に相當するものとす。故に巴里市の毎年の負擔は元金百法に付償還金を算入せずして六法七七に當れり。即ち應募者に拂渡す利子五法五五、五年間に拂渡すべき五法の獎勵金〇、一七七法、巴里市の負擔すべき租税〇、六六七法、發行費用〇、三七二法とす。

知事の交渉に接せし諸銀行は、擧つて若し縣債を民間より募集せむとせば應募者には巴里市の五箇年債の所持人に對するよりも、餘分の利益を與ふべき必要ありと認むるに一致せり。隨て多數の銀行は現行の諸税を除きたる五分五厘の利子にて五箇年後には平價を以て償還せらるべき券面五百法の債券を發行せむとするには、其の發行價格四百九十五法を四百九十法に定むべきを主張したり。然るときは其の募集費は諸税及諸募集費を合せ七、〇一

引受の交  
渉に接せ  
し銀行と  
其の意見

土地抵當  
銀行の應  
募承諾及  
其の條件

〇プロセントとなるなり。又他の一銀行は一切の條件は他の銀行と異ならざるも、其の利率を五分七厘五毛とし、且發行價格を四百九十四法と定めむことを主張せり。此の假定に依れば募集費は合計七、〇六一プロセントとなるべきなり。知事は縣會が民間より募集することを斷念すべき場合を慮り、二種の大金融機關即ち佛蘭西土地抵當銀行(Le Crédit Foncier de France)及國立養老金庫(La Caisse Nationale des Retraités pour la Vieillesse)に豫め應募を計りたり。然るに養老金庫は目下應募するに足る餘金なきを以て直に其の交渉を拒絶せしが、土地抵當銀行に至りては、最近の借入を以て莫大なる資本金を收得したるが爲、左記の條件を以てセーム縣への貸付を承諾したり。即ち其の貸渡は分割して實行すべきも、最後の拂渡は千九百十八年七月十五日以後に至らざることとし、毎年の利子は元金の償還高を合算せずして各拂渡金高の六分八厘一毛と定め、之を等分し六箇月毎に拂込むべきものとし、尙千九百十七年七月十五日の法律を以て賦課されたる租税は之を支拂はざるも、必要なるときは〇、

○五プロセントの印税は銀行に於て負擔するものとす。

セーヌ縣會が去七月十一日の議場に於て審議せしは此の最後の調達策にして新債の利率は百法に對し六法八五を超過すべからざるものとせり。因て千九百十七年八月十九日付參議院限りの布令に依り必要なる募集許可を與へられたり。セーヌ縣會は其の負擔を擔保し且豫算の缺損を補充せむが爲今後五年間四直税の本税に對し十五サンチームの附加税徴收許可を主務官廳に稟請せむことを縣知事に要求せり。報告委員は豫算の缺損高を九百萬若は一千万法とし之に起債事務費を合はせ合計二千万法と見積りたり。

然るに縣知事は豫算の缺損高六百萬法及起債事務費九百萬法合せて千五百萬法と見積り之を補助せむが爲前述の補充財源を以てせむとすと雖其の果して之に應ずるに足るべきやは吾人の疑ふ所なり。余輩は本論を終らむとするに臨み特に附記せむと欲するは、時局により惹起せし若干の支出は、戦後に至らば減少するのみならず全く消滅すべきもの必存すべしと雖、更に他の

負債の擔保と十五サンチームの附加税

新事業費の増加

莫大なる金額は近き將來に於てセーヌ縣の負擔に歸すべきことに在り。即ち水害防禦工事諸費及戦時孤兒救濟諸費中セーヌ縣の分擔額是なり。又一方に於てアンリー・セリエー氏の注目せしめしが如く、議會はセーヌ縣がマルヌ縣の下水及衛生事業計畫を實行する爲起さむとする縣債許可の法案を受理せり。其の他數年前に決定せしセン・ラザール監獄の改築及ブチット・ロケット幼年監の取毀に着手するを要するあり、又第七瘋癲院の建築問題は未だ確定せずと雖、國家的病毒となりたる結核症の傳播を防止する爲必ず結核療養院を創立するを要し、其の他尚巴里市民聚合地に於て職業教育機關を起す爲相當の費用を要するなり。

大正七年三月八日印刷  
大正七年三月十一日發行

### 内務省地方局

東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷者 島 連 太 郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷所 三 秀 舍

電話神田 二二二  
六四四  
九〇〇  
五七六  
番番番

ト工 41/19

明治二十九年六月十一日  
東京市千代田区本町二丁目八番

内務省官制

官制

官制

官制

官制

終